iPod

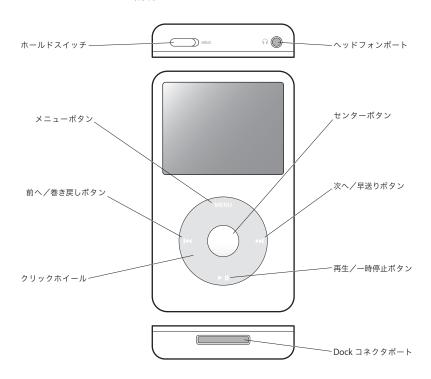
機能ガイド

目次

iPod の基本

1

この度は iPod をご購入いただき、ありがとうございます。このセクションでは、iPod の機能、コントロールの使用方法などについて説明します。

iPod を使用するには、音楽、ビデオ、写真、およびその他のファイルをお使いのコンピュータに保存してから、iPod に読み込みます。

iPod は、単なる音楽用プレーヤーではありません。iPod は、以下の用途にも使用できます：

- 曲、ビデオ、およびデジタルフォトを同期し、持ち歩いて聴いたり見たりする
- Podcast（インターネット経由で配布される、ダウンロード可能なラジオ形式の番組）を聴く
- オプションの iPod AV ケーブルを使って、iPod のビデオをテレビで表示することもできます。
- 写真を音楽付きスライドショーとして iPod で表示する、またはオプションの iPod AV ケーブルを使ってテレビで表示する
- iTunes Store または audible.com から購入したオーディオブックを聴く
- iPod を外部ディスクとして使用して、ファイルやその他のデータを保存またはバックアップする
- お使いのコンピュータのアドレスデータ、カレンダー、および To Do リストの情報を同期させる
- ゲームで遊ぶ、メモを保管する、アラームをセットする、など

iPod 各部の説明

iPod のコントロールを説明します：

iPod のコントロールを使用する

iPod のコントロールは、見つけやすく使いやすい場所にあります。iPod の電源を入れるときは、いずれかのボタンを押します。メインメニューが表示されます。

クリックホイールと「センター」ボタンを使用すると、画面のメニューの操作、曲の再生、設定の変更、および情報の表示を行うことができます。クリックホイール内を親指で軽く触れて動かして、メニュー項目を選択します。項目を選択するときは、「センター」ボタンを押します。前のメニューに戻るときは、クリックホイールの「メニュー」ボタンを押します。

ここでは、iPod のコントロールを使って実行できるその他の操作について説明します。

操作	手順
iPod の電源を入れる	いずれかのボタンを押します。
iPod の電源を切る	「再生／一時停止」ボタン（►II）を押し続けます。
バックライトを点灯する	いずれかのボタンを押すか、クリックホイールを使います。
iPod のコントロールを使用できないようにする （誤って操作ボタンを押してしまうのを防ぎます）	ホールドスイッチをホールドに切り替えます（オレンジ色のバーが見えます）。
iPod をリセットする **(iPod が応答しない場合)**	ホールドスイッチをホールドに設定してから、もう一度元に戻します。「メニュー」ボタンと「センター」ボタンを同時に押し、Apple ロゴが表示されるまで、6 秒以上押し続けます。
メニュー項目を選択する	目的の項目までスクロールし、「センター」ボタンを押します。
前のメニューに戻る	「メニュー」ボタンを押します。
メインメニューに直接移動する	「メニュー」ボタンを押し続けます。
曲をブラウズする	メインメニューで「ミュージック」を選択します。
ビデオをブラウズする	メインメニューで「ビデオ」を選択します。
曲やビデオを再生する	目的の曲またはビデオを選択し、「センター」または「再生／一時停止」（►II）ボタンを押します。曲やビデオを再生するには、iPod をコンピュータから取り出す必要があります。
曲やビデオを一時停止する	「再生／一時停止」ボタン（►II）を押します。または、ヘッドフォンを外します。
音量を調節する	「再生中」の画面が表示されているときに、クリックホイールを使用します。
リスト内のすべての曲を再生する	目的のリストのタイトル（アルバムのタイトル、プレイリストのタイトルなど）を選択し、「再生／一時停止」ボタン（►II）を押します。
すべての曲をランダムな順序で再生する	メインメニューで「曲をシャッフル」を選択します。
曲やビデオの中の好きな場所に移動する	「再生中」画面が表示されているときに、「センター」ボタンを押してスクラブバーを表示してから、曲またはビデオの中の好きな場所までスクロールします。「センター」ボタンを押して、その場所から再生を再開します。
次の曲やビデオ、もしくはオーディオブックや Podcast の次のチャプタに移動する	「次へ／早送り」ボタン（►►I）を押します。
曲またはビデオの始めから再生する	「前へ／巻き戻し」ボタン（I◄◄）を押します。
前の曲やビデオ、もしくは オーディオブックや Podcast の前のチャプタを再生する	「前へ／巻き戻し」ボタン（I◄◄）を 2 回押します。
曲を早送りする／巻き戻す	「次へ／早送り」ボタン（►►I）または「前へ／巻き戻し」ボタン（I◄◄）を押し続けます。
曲を「On-The-Go」プレイリストに追加する	プレイリストで目的の曲を選択し、曲のタイトルが点滅するまで「センター」ボタンを押し続けます。
iPod のシリアル番号を確認する	メインメニューで「設定」>「情報」を選択するか、iPod の背面を確認します。

長いリストをすばやくスクロールする

100 を超える曲、ビデオ、またはその他の項目がある場合、クリックホイール上ですばやく親指を動かすことで、長いリストをすばやくスクロールすることができます。

参考：すべての言語が対応しているわけではありません。

すばやくスクロールするには：

1 クリックホイール上ですばやく親指を動かして、画面上にアルファベットの文字を表示します。

2 探している項目の最初の文字が見つかるまで、クリックホイールで移動します。

これで、その文字で始まるリストの最初の項目にたどり着きます。記号や数字で始まる項目は、文字「A」の前に表示されます。

3 親指を一瞬離すと（または、1 秒ほど親指の動きを止めると）、通常のスクロールに戻ります。

4 クリックホイールを使って、目的の項目を見つけます。

音楽を検索する

曲、プレイリスト、アルバムタイトル、アーティスト名、オーディオ Podcast、およびオーディオブックを iPod で検索することができます。ビデオ、メモ、カレンダー項目、アドレスデータ、および歌詞は検索されません。

参考：すべての言語が対応しているわけではありません。

iPod で検索するには：

1 「ミュージック」メニューから「検索」を選択します。

2 クリックホイールでアルファベットを選び、「センター」ボタンで入力します。

最初の文字を入力すると検索が開始され、検索画面に結果が表示されます。たとえば、「b」と入力すると、「b」を含むすべての項目が表示されます。「ab」と入力すると、その文字のつながりを含むすべての項目が表示されます。

空白を入力するには、「次へ／早送り」ボタンを押します。

前の文字を削除するには、左向きの矢印をクリックするか、「前へ／巻き戻し」ボタンを押します。

3 「完了」をクリックすると、見つかったリストが表示され、そこから移動を開始できます。

見つかったリスト内の曲にはアイコンが付いていません。その他の項目には、項目の種類を示す以下のアイコンが項目の前に付いています：アーティスト（）、アルバム（）、オーディオブック（）、Podcast（）。

「検索」に戻るには、「メニュー」ボタンを押します。

クリックホールの音を切る

メニュー項目をスクロールすると、iPod の内蔵スピーカーから聞こえるクリック音で、クリックホイールが機能していることが分かります。好みに応じて、クリックホイールの音を切ることができます。

クリックホイールの音を切るには：

- 「設定」を選択し、「クリッカー」を「オフ」に設定します。

クリックホイールの音を入に戻すには、「クリッカー」を「オン」に設定します。

iPod のコントロールを使用できないようにする

誤って iPod の電源が入ったり、コントロールが有効になるのを防ぐため、ホールドスイッチを使ってコントロールを一時的に使えなくすることができます。

- ホールドスイッチをホールドに切り替えます（オレンジ色のバーが見えます）。

iPod のメニューを使用する

iPod の電源を入れると、メインメニューが表示されます。メニュー項目を選択して、機能を実行したり、ほかのメニューに移動したりします。画面の上部にあるアイコンは、iPod の状況を示しています。

表示項目	機能
再生状況	曲の再生中は、再生（▶）アイコンが表示されます。曲が一時停止している場合には、一時停止（❚❚）アイコンが表示されます。
ロックアイコン	ロックアイコンは、ホールドスイッチ（iPod の上部にあります）がホールドに設定されているときに表示されます。これは、iPod のコントロールが使用できなくなっていることを示しています。
メニュータイトル	現在のメニューのタイトルを表示します。
バッテリー状況	バッテリーアイコンには、おおよそのバッテリー残量が表示されます。バッテリーの充電中は、このアイコンが動きます。
メニュー項目	メニュー項目をスクロールするときは、クリックホイールを使います。項目を選択するときは、「センター」ボタンを押します。メニュー項目の横にある矢印は、この項目を選択すると、さらにメニューが表示されることを示しています。

メインメニューの項目を追加する／取り除く

よく使用する項目を iPod のメインメニューに追加することができます。たとえば、メインメニューに「曲」の項目を追加すると、「ミュージック」を選択しなくても「曲」を選択できるようになります。

メインメニューの項目を追加または取り除くには：

1 「設定」＞「メインメニュー」と選択します。

2 メインメニューに表示したい項目に対して、オプションを「オフ」から「オン」にします。

バックライトタイマーを設定する

ボタンを押したり、クリックホイールを使用したりしたときに、バックライトを一定の時間だけ点灯して画面を明るくするように設定できます。デフォルトは 10 秒に設定されています。

- 「設定」＞「バックライトタイマー」と選択してから、自動的にバックライトを消すまでの時間を選択します。

バックライトタイマーを設定しなくても、いずれかのボタンを押すか、クリックホイールを使うことによって、バックライトを好きなときに点灯できます。ただし、数秒すると、バックライトは自動的に消えます。

画面の明度を設定する

スライダを動かして iPod の画面の明度を調整することができます。

- 「設定」＞「明度」と選択してから、クリックホイールを使ってスライダを動かします。左に動かすと画面が暗くなり、右に動かすと明るくなります。

明度は、スライドショーやビデオの再生中でも、「センター」ボタンを押して明度スライダを表示したり表示を解除したりして設定することができます。

言語を設定する

iPod は、任意の言語を使用するように設定できます。

- 「設定」＞「言語」と選択してから、リストから言語を選択します。

iPod を接続する／接続解除する（取り外す）

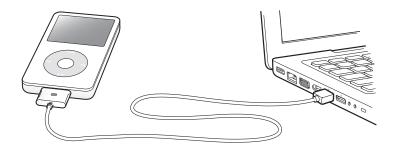
iPod をコンピュータに接続して、音楽、ビデオ、写真、およびファイルの読み込み、また、バッテリーの充電ができます。完了したら、iPod を取り外します。

iPod を接続する

iPod をコンピュータに接続するには：

- 同梱の USB 2.0 ケーブル用 iPod Dock コネクタをコンピュータの高電力型 USB ポートに接続してから（USB 2.0 ポートをお勧めします）、もう一方の端を iPod に接続します。

iPod Dock を使用する場合は、コンピュータの高電力型 USB ポートに適切なケーブルを接続し、もう一方の端を Dock に接続してから、iPod を Dock にセットします。

参考：キーボード上の USB ポートでは十分な電力が得られません。iPod はお使いのコンピュータの USB ポートに接続する必要があります。

デフォルトの設定では、iPod をコンピュータに接続すると、「iTunes」によって曲が自動的に同期されます。「iTunes」を終了したら、iPod を取り外すことができます。

iPod を別のコンピュータに接続したときに、曲を自動的に同期するよう設定されている場合は、音楽が読み込まれる前に「iTunes」によってメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、iPod 上にすでにある曲およびその他のオーディオファイルが消去され、iPod が接続されているコンピュータ上の曲およびその他のオーディオファイルに置き換わります。iPod に音楽を読み込む方法、および複数のコンピュータで iPod を使用する方法の詳細については、16 ページの第 2 章「音楽の機能」を参照してください。

参考：バッテリーの充電中に曲を読み込むことができます。

iPod の接続を解除する

音楽を読み込んでいる間は、コンピュータから iPod を取り外さないでください。iPod の画面を見れば、iPod を取り外せるかどうかがすぐに分かります。

重要：「接続を解除しないでください。」というメッセージが表示されているときは、iPod を取り外さないでください。iPod 上のファイルが壊れてしまう可能性があります。このメッセージが表示されているときは、取り外す前に、iPod の取り出し操作を行う必要があります。

メインメニューまたは大きいバッテリーアイコンが表示されている場合は、
iPod を取り外すことができます。

重要：このメッセージが表示された場合は、
iPod を取り出してから取り外す必要があります。

曲を手動でアップデートするように iPod を設定している場合（23 ページの「iPod を手動で管理する」を参照）、またはディスクとして使用するように iPod を設定している場合は（46 ページの「iPod を外部ディスクとして使用する」を参照）、iPod を取り外す前に、必ず取り出す必要があります。

iPod を取り出すには：

- 「iTunes」の「ソース」パネル内にある装置のリストで、iPod の横にある「取り出し」ボタン（⏏）をクリックします。

  Mac を使用している場合は、iPod のデスクトップアイコンを「ゴミ箱」にドラッグして iPod を取り出すこともできます。

  Windows PC を使用している場合は、Windows システムトレイで「ハードウェアを安全に取り外す」アイコンを選択し、iPod を選択することによって、iPod を取り出すことができます。

iPod の接続を解除するには：

- Dockコネクタの両側を押しながら、iPod からケーブルを取り外します。iPodが Dock にセットされている場合は、Dock から取り外します。

iPod バッテリーについて

iPod には、ユーザには交換できないバッテリーが内蔵されています。iPod を最適にお使いいただくために、はじめてお使いになるときには、iPod のディスプレイの右上隅にあるバッテリーアイコンが完全に充電されたことを示す状態になるまで、バッテリーを 4 時間ほど充電してください。iPod をしばらく使用しなかった場合、バッテリーの充電が必要になることがあります。

iPod のバッテリーは、約 2 時間で 80％充電されます。完全に充電するには、約 4 時間かかります。iPod の充電中にファイルの読み込み、音楽の再生、ビデオの表示やスライドショーの表示を行うと、さらに時間がかかることもあります。

iPod のバッテリーを充電する

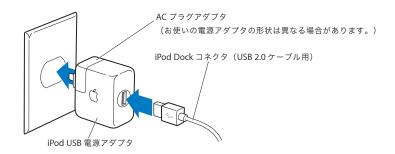
iPod のバッテリーは以下の 2 つの方法で充電できます：

- iPod をコンピュータに接続します。
- iPod USB Power Adapter（iPod USB 電源アダプタ）を使用します（別売です）。

コンピュータを使ってバッテリーを充電するには：

- iPodをお使いのコンピュータの高電力型USBポートに接続します。コンピュータの電源が入っていて、スリープモードになっていない必要があります（一部のモデルの Macintosh では、スリープモードでも iPod を充電できます）。

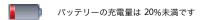
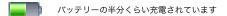
iPod の画面のバッテリーアイコンに稲妻が表示されている場合、そのバッテリーは充電中です。プラグが表示されている場合、そのバッテリーは完全に充電されています。

稲妻もプラグも表示されない場合は、iPod が高電力型 USB ポートに接続されていない可能性があります。コンピュータの別の USB ポートで試してください。

重要：iPod の電力が非常に少ないときは、画面が表示されるようになるまで最大 30 分間の充電が必要となる場合があります。

お使いのコンピュータから離れているときに iPod を充電したい場合、iPod USB Power Adapter（iPod USB 電源アダプタ）を購入できます。

iPod USB 電源アダプタを使ってバッテリーを充電するには：

1. AC プラグアダプタを電源アダプタに接続します（すでに接続されている場合もあります）。
2. USB 2.0 ケーブル用 iPod Dock コネクタを電源アダプタに接続し、ケーブルのもう一方の端子を iPod に接続します。

3 電源アダプタのプラグをコンセントに差し込みます。

> **警告：**プラグをコンセントに差し込む前に、電源アダプタが完全に組み立てられていることを確認してください。

参考：オプションの FireWire ケーブル用 iPod Dock コネクタを持っている場合は、iPod をお使いのコンピュータの FireWire ポート、またはプラグをコンセントに接続した iPod 電源アダプタ（FireWire ポートと使用）に接続することもできます。バッテリーの充電用にのみ FireWire ポートを使用することができます。曲やほかのファイルを iPod に読み込む場合には使用できません。

バッテリーの状態を理解する

iPod を電源に接続していないときは、iPod の画面の右上隅のバッテリーアイコンを見れば、おおよそのバッテリー残量を確認できます。

iPod を電源に接続すると、バッテリーアイコンが変化して、充電中であること、または完全に充電されていることを確認できます。

バッテリーは充電中です（稲妻）

バッテリーは完全に充電されています（プラグ）

完全に充電される前でも、コンピュータから取り外して、iPod を使用することができます。

参考：充電式のバッテリーに充電できる回数は限られているため、その回数を超えた場合は、バッテリーを交換する必要があります。バッテリーの寿命と充電回数は、使用方法と設定によって異なります。詳しくは、www.apple.com/jp/batteries を参照してください。

音楽の機能

2

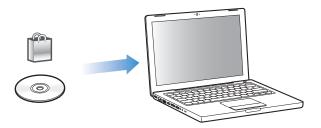
iPod を使って、好きな場所にオーディオコレクションを持ち出すことができます。このセクションでは、音楽を読み込んで iPod で再生する方法について説明します。

iPod を使うときには、曲、オーディオブック、ビデオ、および Podcast（ラジオ形式のオーディオ番組）をコンピュータに読み込んでから、それらを iPod に読み込みます。この操作に含まれる手順について、詳しく説明していきます：

- 音楽を手持ちの CD コレクション、ハードディスク、または iTunes Store（「iTunes」の一部で、一部の国でのみ利用可能です）から、コンピュータ上の「iTunes」アプリケーションに読み込みます。
- 必要に応じて、音楽やその他のオーディオを並べ替えてプレイリストを作成します。
- プレイリスト、曲、オーディオブック、ビデオ、および Podcast を iPod に読み込みます。
- 音楽やその他のオーディオを持ち歩いて聴きます。

iTunes について

「iTunes」は、iPod と一緒に使用するソフトウェアアプリケーションです。「iTunes」を使うと、音楽、オーディオブック、Podcast などを iPod と同期させることができます。iPod をコンピュータに接続すると、「iTunes」が自動的に開きます。

このガイドでは、「iTunes」を使って、曲、その他のオーディオやビデオをコンピュータにダウンロードする方法、お気に入りの曲のパーソナルコンピレーション（プレイリストと呼びます）を作成する方法、それらを iPod に読み込む方法、および iPod の設定を調整する方法について説明します。

「iTunes」にはほかにも多くの機能があります。たとえば、標準の CD プレーヤーで再生する自分だけの CD を作成したり（コンピュータに CD-R ドライブが装備されている場合）、ストリーミング・インターネット・ラジオを聴いたり、ビデオやテレビ番組を観たり、好み応じて曲にレートを付けたりすることができます。

「iTunes」のこれらの機能の使用方法について詳しくは、「iTunes」を開き「ヘルプ」>「iTunes ヘルプ」と選択してください。

コンピュータに音楽を読み込む

iPod で音楽を聴くときは、まずお使いのコンピュータ上の「iTunes」にその音楽を読み込む必要があります。

「iTunes」に音楽およびその他のオーディオを読み込むには、3 つの方法があります：

- iTunes Store からオンラインで音楽、オーディオブック、およびビデオを購入したり Podcast をダウンロードしたりする。
- オーディオ CD から音楽を読み込む。
- すでにコンピュータ上にある音楽およびその他のオーディオを iTunes ライブラリに追加する。

iTunes Store を使って曲を購入する／ Podcast をダウンロードする

インターネットに接続している場合は、iTunes Store を使って、曲、アルバム、オーディオブック、およびビデオを、オンラインで簡単に購入してダウンロードできます。Podcast（ラジオ形式のオーディオ番組）を登録してダウンロードすることもできます。

iTunes Store からオンラインで音楽を購入するときは、「iTunes」で Apple アカウントを設定してから、目的の曲を探して購入します。Apple アカウントをすでに持っている場合、または AOL（America Online）アカウントを持っている場合は、そのアカウントを使って iTunes Store にサインインし、曲を購入できます（このオプションは一部の国でのみ利用可能です）。

参考：Podcast をダウンロード、もしくは登録するのに、iTunes Store アカウントは必要ありません。

iTunes Store にサインインするには：

■ 「iTunes」を開きます：

- すでに iTunes アカウントがある場合は、「Store」＞「サインイン」と選択します。
- まだ iTunes アカウントがない場合は、「Store」＞「アカウントを作成」と選択し、画面上の指示に従って Apple アカウントを作成するか、既存の Apple アカウント情報または AOL アカウント情報を入力します。

曲、オーディオブック、ビデオ、および Podcast を検索するには：

iTunes Store で、目的のアルバム、曲、アーティストをブラウズまたは検索できます。「iTunes」を開き、「ソース」パネルで「iTunes Store」をクリックします。

- iTunes Store をブラウズするには、iTunes Store の左上にある「ジャンルを選ぶ」ポップアップメニューから音楽ジャンルを選択し、中央または右側に表示されるアルバムまたは曲の 1 つをクリックするか、ウインドウの右上にある「ブラウズ」ボタンをクリックします。
- Podcastをブラウズするには、iTunes Storeのメインページの左側にあるPodcastへのリンクをクリックします。
- ビデオをブラウズするには、iTunes Store のメインページの左側にあるビデオへのリンクをクリックします。
- iTunes Store 内を検索するには、検索フィールドにアルバム、曲、アーティスト、または作曲者の名前を入力します。
- 検索結果を絞り込むには、検索フィールドに何か入力し、キーボードのReturnキーまたはEnterキーを押した後、検索バー内のボタンをクリックします。たとえば、曲名で絞り込むには、「曲名」ボタンをクリックします。
- 複数の項目を組み合わせて検索するには、iTunes Store ウインドウにある「パワーサーチ」をクリックします。
- iTunes Store のメインページに戻るには、左上にあるホームボタンをクリックします。

曲、アルバム、オーディオブック、またはビデオを購入するには：

1 「ソース」パネルで「iTunes Store」をクリックし、購入したい項目を探します。

曲やその他の項目をダブルクリックしてその一部を試聴して、欲しい項目を確認できます。（お使いのネットワーク接続が 128 kbps よりも遅い場合は、「iTunes」＞「環境設定」（Mac OS X の場合）または「編集」＞「設定」（Windows の場合）と選択し、「Store」パネルで「再生を行う前にプレビューを完全に読み込む」チェックボックスを選択してください。）

2 「曲を購入」、「アルバムを購入」、「ブックを購入」、または「ビデオを購入」をクリックします。

曲やその他の項目がコンピュータにダウンロードされ、お持ちの Apple アカウントまたは AOL アカウントで指定されているクレジットカードに請求が発生します。

Podcast をダウンロードする／登録するには：

1 「ソース」パネルで「iTunes Store」をクリックします。

2 iTunes Store のメインページの左側にある Podcast へのリンクをクリックします。

3 ダウンロードしたい Podcast をブラウズします。

- 1 つの Podcast エピソードをダウンロードするときは、エピソードの横にある「エピソードを入手」ボタンをクリックします。
- Podcast を登録するときは、Podcast の画像の横にある「登録する」ボタンをクリックします。最も新しいエピソードが「iTunes」にダウンロードされます。インターネットに接続している場合、新しいエピソードが入手できる状態になると、それらが「iTunes」に自動的にダウンロードされます。

オーディオ CD から「iTunes」に音楽を読み込む

CD から「iTunes」に音楽を読み込むには、以下の手順を行います。

オーディオ CD から「iTunes」に音楽を読み込むには：

1. コンピュータに CD を挿入し、「iTunes」を開きます。

   インターネットに接続している場合は、CD に収録されている曲の名前が自動的にインターネットから取得され（取得できる場合）、ウインドウに表示されます。

   インターネットに接続していない場合は、CD の内容を読み込んでから、後でインターネットに接続したときに、「詳細」＞「CD トラック名を取得」と選択します。読み込んだ CD のトラック名が取得されます。

   CD トラック名をオンラインで取得できない場合は、曲の名前を手動で入力できます。詳しくは、19 ページの「曲名やその他の詳細を入力する」を参照してください。

   入力された曲の情報を使って、「iTunes」または iPod 上で、タイトル、アーティスト、アルバムなどで曲をブラウズできます。

2. CD から読み込みたくない曲がある場合は、その曲の横にあるチェックマークをクリックして外します。

3. 「読み込み」（Mac OS X の場合）または「インポート」（Windows の場合）ボタンをクリックします。「iTunes」ウインドウの上部の表示領域に、各曲の読み込みにかかる時間が表示されます。

   デフォルトでは、読み込み中に曲が再生されます。多数の曲を読み込む場合は、パフォーマンスを向上させるために曲の再生を停止することをお勧めします。

4. CD を取り出すには、「取り出し」（⏏）ボタンをクリックします。

5. ほかの CD からも曲を読み込みたい場合は、これらの手順を繰り返します。

曲名やその他の詳細を入力する

CD に収録されている曲名やその他の情報を手動で入力するには：

1. CD の最初の曲を選択し、「ファイル」＞「情報を見る」と選択します。

2. 「情報」をクリックします。

3. 曲の情報を入力します。

4. 「次へ」をクリックして、次の曲の情報を入力します。

歌詞を追加する

「iTunes」に、標準テキストフォーマットで曲の歌詞を入力するかペーストすると、iPod で曲の再生中にその曲の歌詞を表示できます。

「iTunes」に歌詞を入力またはペーストするには：

1. 曲を選び、「ファイル」＞「情報を見る」と選択します。

2. 「歌詞」をクリックします。

3 テキストボックスに曲の歌詞を入力します。

4 「OK」をクリックします。

詳しくは、30 ページの「歌詞を iPod に表示する」を参照してください。

コンピュータ上の既存の曲を iTunes ライブラリに追加する

コンピュータ上にある曲が「iTunes」の対応しているファイル形式でエンコードされている場合は、それらの曲を「iTunes」に簡単に追加することができます。

コンピュータ上の曲を iTunes ライブラリに追加するには：

- オーディオファイルが含まれるフォルダまたはディスクを、「iTunes」の「ソース」パネルにある「ライブラリ」にドラッグします（または、「ファイル」＞「ライブラリに追加」と選択し、フォルダまたはディスクを選択します）。「iTunes」が曲のファイル形式に対応している場合には、「iTunes」のライブラリに曲が自動的に追加されます。

曲のファイルを個別に「iTunes」にドラッグすることもできます。

参考：Windows で「iTunes」を使用する場合は、保護されていない WMA ファイルを AAC 形式または MP3 形式に変換できます。これは、WMA 形式でエンコードされた音楽のライブラリがある場合に便利です。詳しいことを知りたいときは、「iTunes」を開き、「ヘルプ」＞「iTunes ヘルプ」と選択してください。

音楽を整理する

「iTunes」を使用して、音楽やその他の項目を並べ替えて、プレイリストと呼ばれるリストを作成ができます。プレイリストは好みの方法で整理することができます。たとえば、運動中に聴くための曲をまとめたプレイリストや、気分に合った曲をまとめたプレイリストを作成できます。

定義した規則に基づいて自動的にアップデートされるスマートプレイリストを作成することもできます。それらの規則を満たしている曲を「iTunes」に追加すると、自動的にスマートプレイリストに追加されます。

コンピュータの音楽ライブラリに入っている曲を使って、好きなだけプレイリストを作成できます。曲をプレイリストに追加しても、その曲がライブラリから取り除かれることはありません。

「iTunes」にプレイリストを作成するには：

1 追加（+）ボタンをクリックします。

2 プレイリストの名前を入力します。

3 「ライブラリ」リストにある「ミュージック」をクリックしてから、曲やその他の項目をプレイリストにドラッグします。

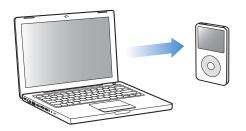
複数の曲を選択するには、Shift キーかコマンド（⌘）キー（Mac の場合）、または Shift キーか Control キー（Windows PC の場合）を押しながら、曲をクリックします。

スマートプレイリストを作成するには：

- 「ファイル」＞「新規スマートプレイリスト」と選択し、プレイリストのルールを定義します。

参考：iPod がコンピュータに接続されていないときに、「On-The-Go」プレイリストと呼ばれるプレイリストを iPod 上に作成することもできます。26 ページの「On-The-Go プレイリストを iPod に作成する」を参照してください。

音楽および Podcast を iPod に読み込む

音楽を「iTunes」に読み込んで整理したら、iPod にその音楽を簡単に読み込むことができます。

コンピュータから iPod に音楽を読み込む方法を設定するには、iPod をコンピュータに接続してから、「iTunes」の環境設定を使って iPod の設定を変更します。

次の 3 つの方法で、iPod に音楽を読み込むように「iTunes」を設定できます：

- すべての曲とプレイリストを同期する：iPod を接続すると、iTunes ライブラリの曲やその他の項目と一致するように、自動的にアップデートされます。iPod のその他の曲は削除されます。
- 選択したプレイリストを同期する：iPod を接続すると、「iTunes」で選択したプレイリストの曲と一致するように、自動的にアップデートされます。
- iPod 上の音楽を手動で管理する：iPod を接続すると、曲とプレイリストを個別に iPod にドラッグしたり、iPod から曲とプレイリストを個別に削除することができます。このオプションを使うと、iPod から曲を消去することなく、複数のコンピュータから曲を読み込めます。音楽を自分で管理する場合は、接続を解除する前に、必ず手動で「iTunes」から iPod を取り出す必要があります。

音楽を自動的に同期させる

デフォルトでは、iPod をコンピュータに接続すると、すべての曲とプレイリストが自動的に同期されるように設定されています。この方法を利用すれば、音楽を簡単に iPod に読み込むことができます。iPod をコンピュータに接続するだけで、曲、オーディオブック、ビデオ、およびその他の項目が自動的に追加され、接続を解除すれば再生を始めることができます。前回 iPod を接続した後に「iTunes」に曲を追加している場合、それらの曲は iPod に読み込まれます。「iTunes」から曲を削除している場合、それらの曲は iPod から削除されます。

音楽を iPod に読み込むには：

- iPod をコンピュータに接続します。自動的に同期するように iPod が設定されている場合は、アップデートが始まります。

重要：はじめて iPod をコンピュータに接続する場合、曲を自動的に同期するかどうかを確認するメッセージが表示されます。同意すると、iPod からすべての曲、オーディオブック、ビデオ、およびその他の項目が消去され、コンピュータのそれらの項目に置き換えられます。同意しなかった場合は、iPod 上にすでにある曲を消去することなく、曲を iPod に手動で読み込むことができます。

音楽がコンピュータから iPod に読み込まれている間、「iTunes」の状況ウインドウに進行状況が表示され、「ソース」パネルの iPod アイコンが赤く点灯します。

アップデートが完了すると、「iPod のアップデートが完了しました。」（Mac OS X の場合）または「iPod の更新が完了しました。」（Windows の場合）というメッセージが「iTunes」に表示されます。

音楽を手動で同期させるように「iTunes」を設定している場合でも、自動的に同期されるように後で「iTunes」を設定し直すことができます。

iPod ですべての音楽が自動的に同期されるように「iTunes」を設定し直すには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「ミュージック」タブをクリックします。
2 「音楽を同期する」を選択してから、「すべての曲とプレイリスト」を選択します。
3 「適用」をクリックします。

自動的にアップデートが始まります。

参考：「概要」パネルで「チェックマークのある項目だけを同期する」が選択されている場合は、ミュージックライブラリやほかのライブラリ内でチェックマークが付いている項目だけが同期されます。

選択したプレイリストの音楽を iPod に同期する

iTunes ライブラリ内の音楽の合計が iPod のディスク容量を超えている場合は、選択したプレイリストを iPod に同期するように「iTunes」を設定すると便利です。選択したプレイリストの曲だけが、iPod に同期されます。

選択したプレイリストの音楽を iPod に同期するよう「iTunes」を設定するには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「ミュージック」タブをクリックします。
2 「音楽を同期する」を選択してから、「選択したプレイリスト」をクリックします。
3 アップデートに使いたいプレイリストを選択します。
4 ミュージックビデオを含めたり、アルバムのアートワークを表示したりするには、それらのオプションを選択します。
5 「適用」をクリックします。

参考：「概要」パネルで「チェックマークのある項目だけを同期する」が選択されている場合は、ミュージックライブラリやほかのライブラリ内でチェックマークが付いている項目だけが同期されます。

iPod を手動で管理する

iPod を手動で管理できるように「iTunes」を設定すると、iPod の音楽やビデオをより柔軟に管理することができます。曲（ミュージックビデオを含む）やビデオ（ムービーとテレビ番組を含む）を個別に追加したり削除することができます。また、iPod 上にすでにある項目を消去することなく、音楽やビデオを複数のコンピュータから iPod に読み込むことができます。

参考：音楽とビデオを手動で管理するように iPod を設定すると、「ミュージック」「ムービー」「テレビ番組」パネルの自動同期オプションがオフになります。ある項目を手動管理して、別の項目を自動同期することはできません。

iPod の音楽とビデオを手動で管理できるように「iTunes」を設定するには：

1. 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「概要」タブをクリックします。
2. 「オプション」セクションにある「音楽とビデオを手動で管理する」を選択します。
3. 「適用」をクリックします。

参考：曲とビデオを自分で管理する場合は、接続を解除する前に、必ず手動で「iTunes」から iPod を取り出す必要があります。

曲、ビデオやその他の項目を iPod に追加するには：

1. 「iTunes」の「ソース」パネルで「ミュージック」またはその他のライブラリ項目をクリックします。
2. 「ソース」パネルにある iPod のアイコンに曲やその他の項目をドラッグします。

曲、ビデオやその他の項目を iPod に取り除くには：

1. 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択します。
2. iPod の曲やその他の項目を選択し、キーボードの Delete キーまたは Backspace キーを押します。

   iPod の曲やその他の項目を手動で削除しても、iTunes ライブラリからは削除されません。

新しいプレイリストを iPod に作成するには：

1. 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択し、追加（+）ボタンをクリックするか、「ファイル」＞「新規プレイリスト」と選択します。
2. プレイリストの名前を入力します。
3. 「ライブラリ」リストにある「ミュージック」などの項目をクリックしてから、曲やその他の項目をプレイリストにドラッグします。

iPod 上のプレイリスト内の曲を追加または削除するには：

- 曲を追加するときは、iPod 上のプレイリストに曲をドラッグします。曲を削除するときは、プレイリスト内の曲を選択し、キーボードの Delete キーを押します。

Podcast を iPod に読み込む

Podcast を iPod に読み込む設定は、曲を読み込む設定とは関係ありません。Podcast をアップデートする設定は、曲をアップデートする設定に影響しません。また、その逆も同様です。すべての Podcast や選択した Podcast を自動的に同期したり、Podcast を iPod に手動で読み込んだりするように「iTunes」を設定することができます。

iPod の Podcast が自動的にアップデートされるように iTunes を設定するには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「Podcast」タブをクリックします。

2 「Podcast」パネルで「次のものを同期する：... エピソード：」を選択し、ポップアップメニューから同期したいエピソードの数を選択します。

3 「すべての Podcast」または「選択した Podcast」をクリックします。「選択した Podcast」をクリックした場合は、さらにリストの中から同期したい Podcast を選択します。

4 「適用」をクリックします。

iPod の Podcast を自動的に同期するように「iTunes」を設定している場合、iPod をコンピュータに接続する度にアップデートされます。

参考：「概要」パネルで「チェックマークのある項目だけを同期する」が選択されている場合は、「Podcast」ライブラリやほかのライブラリ内でチェックマークが付いている項目だけが同期されます。

Podcast を手動で管理するには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「概要」タブをクリックします。

2 「音楽とビデオを手動で管理する」を選択し、「適用」をクリックします。

3 「ソース」パネルで「Podcast」ライブラリを選択し、必要な Podcast を iPod にドラッグします。

音楽を再生する

音楽とその他のオーディオを iPod に読み込んだら、再生できます。クリックホイールと「センター」ボタンを使って、聴きたい曲、オーディオブック、ビデオ、またはPodcastをブラウズします。

曲をブラウズして再生するには：

- 「ミュージック」を選択し、曲を見つけ、「再生」（▶II）ボタンを押します。

参考：「ミュージック」メニューからミュージックビデオをブラウズした場合は、音楽を聴くことだけできます。「ビデオ」メニューからミュージックビデオをブラウズした場合は、ビデオも表示されます。

曲を再生しているときには、「再生中」画面が表示されます。次の表で、iPod の「再生中」画面の要素について説明します。

再生中画面	機能
曲の番号	現在選択している一連の曲の中で、再生中の曲の番号を示しています。
アルバムアート	曲のオーディオファイルにアルバムアートが含まれている場合には、アルバムアートが表示されます。
リピート（）アイコン	iPod がすべての曲を繰り返し再生するように設定されている場合に表示されます。iPod が特定の曲を繰り返し再生するように設定されている場合には、1 曲リピートする（）アイコンが表示されます。
シャッフル（）アイコン	iPod が曲またはアルバムをシャッフルするように設定されている場合に表示されます。
曲の情報	曲のタイトル、アーティスト、およびアルバムアートを表示します。
曲の時間（プログレスバー）	現在の曲の経過時間と残り時間を表示します。「センター」ボタンを押して、移動バーを表示させます。移動バーには、現在の位置を示すダイアモンドが表示されます。クリックホイールを使って、早送りしたり巻き戻したりします。

「再生中」画面が表示されているときは、クイックホイールを使って音量を変えることができます。「再生中」画面で「センター」ボタンを何度か押すと、曲やオーディオブックのレート、アルバムアート、Podcast 情報、読み上げ速度など、ほかの情報やオプションを表示することができます。前の画面に戻るときは、「メニュー」ボタンを押します。

曲をシャッフルするよう iPod を設定する

曲、アルバム、またはライブラリ全体を、ランダムな順序で再生するように iPod を設定できます。

すべての曲をシャッフルしてから再生するように iPod を設定するには：

- iPod のメインメニューから、「曲をシャッフル」を選択します。

iPod のミュージックライブラリ全体からランダムな順序で曲の再生が始まります。オーディオブックと Podcast はスキップします。

曲またはアルバムを常にシャッフルするように iPod を設定するには：

1 iPod のメインメニューから、「設定」を選択します。

2 「シャッフル」を「曲」または「アルバム」に設定します。

「設定」＞「シャッフル」と選択して、曲をシャッフルするように iPod を設定すると、iPod は選択したリスト（たとえばアルバムやプレイリスト）の中で曲をシャッフルします。

アルバムをシャッフルするように iPod を設定すると、アルバムのすべての曲が順序通り再生され、次にリスト中の別のアルバムがランダムに選択され、そのアルバムのすべての曲が順序通り再生されます。

曲をリピートするよう iPod を設定する

iPod は、1 曲を何度もリピートしたり、選択したリスト内で曲をリピートするように設定できます。

曲をリピートするよう iPod を設定するには：

- iPod のメインメニューから、「設定」を選択します。
  - リスト内のすべての曲をリピートするときは、「リピート」を「すべて」に設定します。
  - 1 曲だけをリピートするように設定するときは、「リピート」を「1 曲」に設定します。

On-The-Go プレイリストを iPod に作成する

iPod がコンピュータに接続されていないときに、「On-The-Go」プレイリストと呼ばれるプレイリストを iPod 上に作成することができます。

On-The-Go プレイリストを作成するには：

1 目的の曲を選択し、曲のタイトルが点滅するまで「センター」ボタンを押し続けます。

2 ほかに追加したい曲を選択します。

3 「ミュージック」＞「プレイリスト」＞「On-The-Go」と選択して、曲のリストを確認し再生します。

曲のリストを追加することもできます。たとえば、アルバムを追加するときは、目的のアルバムのタイトルに移動し、アルバムのタイトルが点滅するまで「センター」ボタンを押し続けます。

On-The-Go プレイリスト内の曲を再生するには：

- 「ミュージック」＞「プレイリスト」＞「On-The-Go」と選択し、曲を選択します。

On-The-Go プレイリストから曲を取り除くには：

- プレイリスト内の目的の曲を選択し、曲のタイトルが点滅するまで「センター」ボタンを押し続けます。

On-The-Go プレイリスト全体を消去するには：

- 「ミュージック」＞「プレイリスト」＞「On-The-Go」＞「プレイリストを削除」と選択します。

On-The-Go プレイリストを iPod に保存するには：

- 「ミュージック」＞「プレイリスト」＞「On-The-Go」＞「プレイリストを保存」＞「プレイリストを保存」と選択します。

最初のプレイリストが、「プレイリスト」メニューに「新規プレイリスト 1」として保存されます。「On-The-Go」プレイリストがリセットされます。プレイリストは好きな数だけ保存できます。プレイリストを保存した後は、そのリストから曲を削除することはできません。

On-The-Go プレイリストをコンピュータにコピーするには：

- iPod が曲を自動でアップデートするように設定されていて（21 ページの「音楽を自動的に同期させる」を参照）、「On-The-Go」プレイリストを作成している場合、iPod を接続すると「On-The-Go」プレイリストは「iTunes」に自動的にコピーされます。新しい「On-The-Go」プレイリストが「iTunes」のプレイリストの一覧に表示されます。「iTunes」のほかのプレイリストと同じようにして、その新しいプレイリストの名前を変更したり削除したりできます。

曲にレートを付ける

曲にレートを付けて（星 1 〜 5 つ）、曲の好みの程度を指定することができます。指定したレートは、「iTunes」でスマートプレイリストを自動作成するときに利用できます。

曲にレートを付けるには：

1. 曲を再生します。
2. 「再生中」の画面から、レートを付ける画面（黒丸か星、またはその両方が表示されます）が表示されるまで、「センター」ボタンを押します。
3. クリックホイールを使って、星の数を選択します。

参考：Podcast にレートを付けることはできません。

最大音量の制限を設定する

iPod の最大音量の制限を設定し、設定が変更されることを防ぐために番号を割り当てることができます。

iPod の最大音量の制限を設定するには：

1. 「設定」＞「音量制限」と選択します。

   音量コントロールに現在の音量が表示されます。

2. クリックホイールを使って、最大音量の限度を選びます。

   「再生」ボタンを押して現在選択している曲を再生しながら、音量の最大値を選ぶこともできます。

3. 最大音量の制限を設定するには、「センター」ボタンを押します。

   設定した音量の最大値が、音量バー上に三角形で表示されます。

4. 最大音量制限を変更する際に番号の入力が必要になるように設定する場合は、「音量制限」画面で、「番号を設定」をクリックします。最大音量を変更する際に番号の入力を要求しなくてもいい場合は、「完了」をクリックします。
5. 「番号を設定」を選択する場合は、番号を入力します：
   - クリックホイールを使って、番号の最初の数字を選択します。「センター」ボタンを押してその数字を確定し、次の数字に移動します。

- 同様の方法で、番号の残りの数字も設定します。「次へ／早送り」ボタンで次の数字へ、「前へ／巻き戻し」ボタンで前の数字へ移動できます。番号の最後の数字で「センター」ボタンを押すと、番号全体が確定して前の画面に戻ります。

制限を設定した後に最大音量まで上げると、「再生中」画面の音量バーの右側に、最大音量の制限が設定されていることを示すロックアイコンが表示されます。

参考：曲やその他のオーディオの音量は、オーディオの録音方法またはエンコード方法によって異なることがあります。「iTunes」と iPod で相対音量レベルを設定する方法については、28 ページの「同じ音量レベルで曲を再生するように設定する」を参照してください。いくつかの種類のイヤフォンやヘッドフォンを使っている場合は、音量レベルもそれぞれ異なることがあります。iPod Radio Remote を除いて、iPod Dock コネクタ経由で接続しているアクセサリでは、音量制限はサポートされません。

番号を設定した場合は、最大音量の制限を変更または解除するとき、最初にその番号を入力する必要があります。

最大音量の制限を変更するには：

1. 「設定」＞「音量制限」と選択します。
2. 番号を設定した場合は、クリックホイールを使って数字を選んで番号を入力し、「センター」ボタンを押して確定します。
3. クリックホイールを使って、最大音量の限度を変更します。
4. 「センター」ボタンを押して、変更を受け入れます。

最大音量の制限を削除するには：

1. 現在 iPod で再生中の場合は、「一時停止」を押します。
2. 「設定」＞「音量制限」と選択します。
3. 番号を設定した場合は、クリックホイールを使って数字を選んで番号を入力し、「センター」ボタンを押して確定します。
4. クリックホイールを使って、音量バーで音量制限を最大レベルまで移動します。この操作によって、音量制限が解除されます。
5. 「センター」ボタンを押して、変更を受け入れます。

参考：番号を忘れてしまった場合は、iPod を復元できます。詳しくは、62 ページの「iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する」を参照してください。

同じ音量レベルで曲を再生するように設定する

「iTunes」では、同じ相対音量レベルですべての曲が再生されるように、曲の音量を自動的に調整することができます。「iTunes」の音量設定を使用するように iPod を設定できます。

曲が同じサウンドレベルで再生されるように iTunes を設定するには：

1. 「iTunes」で、「iTunes」＞「環境設定」（Mac の場合）と選択するか、「編集」＞「設定」（Windows PC の場合）と選択します。

2 「再生」をクリックし、「サウンドチェック」を選択します。

iTunes の音量設定を使用するように iPod を設定するには：

- 「設定」＞「サウンドチェック」と選択します。

「iTunes」で「サウンドチェック」を選択していない場合は、iPod で設定しても効果はありません。

イコライザを使用する

イコライザプリセットを使用すると、特定の音楽ジャンルやスタイルに合わせて、iPod のサウンドを変更することができます。たとえば、ロック音楽のサウンドを良くするには、イコライザを「Rock」に設定します。

イコライザを使用して、iPod のサウンドを変更するには：

- 「設定」＞「EQ」と選択し、イコライザプリセットを選択します。

「iTunes」でイコライザプリセットを曲に割り当てていて、iPod のイコライザが「オフ」に設定されている場合、その曲は「iTunes」の設定を使って再生されます。詳しくは、「iTunes ヘルプ」を参照してください。

コンピレーションを表示するように iPod を設定する

「ミュージック」メニュー内に「コンピレーション」メニュー項目を表示するようにiPod を設定できます。コンピレーションとは、映画のサウンドトラックや、ベスト・ヒット・アルバムのように、さまざまなソースから曲を集めたアルバムのことを言います。「ミュージック」＞「コンピレーション」と選択して、コンピレーションを表示できます。

ミュージックメニュー内にコンピレーションを表示するように iPod を設定するには：

- 「設定」を選択し、「コンピレーション」を「オン」に設定します。

iPod にアルバムアートワークを表示する

デフォルトでは、iPod にアルバムアートワークが表示されるように「iTunes」が設定されています。アートワークがある場合、アルバムの曲を再生しているときに、iPod に表示されます。

iPod にアルバムアートワークを表示するように「iTunes」を設定するには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「ミュージック」タブをクリックします。

2 「iPod でアルバムのアートワークを表示する」を選択します。

iPod にアルバムアートワークを表示するには：

1 アルバムアートワークのある曲を再生します。

2 「再生中」画面が表示されているときに、「センター」ボタンを 2 回押します。アートワークが表示されない場合は、曲にアルバムアートワークがないか、または iPod にアルバムアートワークを表示できるように「iTunes」を設定する必要があります（前述を参照）。

アルバムアートワークについて詳しいことを知りたいときは、「iTunes」を開き、「ヘルプ」＞「iTunes ヘルプ」と選択してください。

歌詞を iPod に表示する

曲の歌詞を「iTunes」で入力して（19 ページの「歌詞を追加する」を参照）、その曲を iPod に読み込むと、歌詞を iPod で表示することができます。

iPod で曲の再生中に歌詞を表示するには：

- 「再生中」画面が表示されているときに、歌詞が表示されるまで「センター」ボタンを押します。画面に歌詞が表示され、曲が再生されている間、歌詞をスクロールできます。

Podcast を聴く

Podcast は、iTunes Store で入手できる、ダウンロード可能なラジオ形式の番組です。Podcast は、番組、番組内のエピソード、およびエピソード内のチャプタによって構成されています。Podcast を聴くのを途中で止め、後で再開した場合、中断したその続きから再生されます。

Podcast を聴くには：

1 「ミュージック」>「Podcast」と選択し、番組を選択します。

番組は新しい順に表示されるので、最新のものから聴くことができます。まだ再生していない番組とエピソードの横には、青い点の印が表示されます。

2 エピソードを選択して再生します。

「再生中」画面には、番組、エピソード、および日付情報と一緒に、経過時間と残り時間が表示されます。Podcast についての詳しい情報を見るには、「センター」ボタンを押します。Podcast にアートワークが含まれている場合は、ピクチャも表示されます。Podcast のアートワークは 1 つのエピソードの中で変えることができるため、Podcast の再生中に複数のピクチャが表示される場合があります。

ビデオ Podcast を読み込むこともできます。ビデオ Podcast をブラウズした場合は、Podcast の音声だけが再生されます。ビデオを観るには、「ビデオ」>「ビデオ Podcast」と選択し、観たいビデオ Podcast を探します。

聴いている Podcast にチャプタがある場合は、「次へ／早送り」ボタンまたは「前へ／巻き戻し」ボタンを押すと、Podcast の次のチャプタへ移動、または再生中のチャプタの始めへ移動します。

Podcast について詳しいことを知りたいときは、「iTunes」を開き、「ヘルプ」>「iTunes ヘルプ」と選択してください。そこで「Podcast」を検索してください。

オーディオブックを聴く

iTunes Store または audible.com からオーディオブックを購入し、ダウンロードして iPod で聴くことができます。

「iTunes」を使って、音楽と同じように、オーディオブックを iPod に読み込むことができます。iPod のオーディオブックを聴くのを途中で止め、後で再開した場合、中断したその続きから再生されます。iPod は、シャッフルに設定されていると、プレイリスト内から曲を再生する場合以外はオーディオブックをスキップします。

聴いているオーディオブックにチャプタがある場合は、「次へ／早送り」ボタンまたは「前へ／巻き戻し」ボタンを押すと、オーディオブックの次のチャプタへ移動、または再生中のチャプタの始めへ移動します。

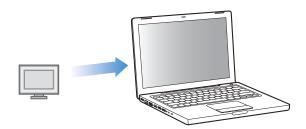
オーディオブックは、通常より速い速度または遅い速度で再生できます。

オーディオブックの再生速度を設定するには：

- 「設定」＞「オーディオブック」と選択し、速度を選択します。

オーディオブックの再生中、「再生中」画面からオーディオブックの再生速度を調整することもできます。「スピード」メニュー項目が表示されるまで「センター」ボタンを押し、それからクリックホイールを使って「スピード」を「やや遅い」か「やや速い」に設定します。

再生の速度を設定できるのは、iTunes Store または audible.com から購入したオーディオブックだけです。

FM ラジオを聴く

オプションの iPod 用 iPod Radio Remote アクセサリを使用すると、ラジオを聴くことができます。iPod Radio Remote は、Dock コネクタケーブルを使用して iPod に取り付けます。詳しくは、iPod Radio Remote のマニュアルを参照してください。

ビデオ機能

3

iTunes Store からビデオを購入したりビデオ Podcast をダウンロードして、それらを iPod に読み込むことができます。ビデオは iPod または iPod に接続したテレビで観ることができます。このセクションでは、ビデオをダウンロードして表示する方法について説明します。

ビデオを購入する／ビデオ Podcast をダウンロードする

iTunes Store（「iTunes」の一部で、一部の国でのみ利用可能です）からムービー、テレビ番組やミュージックビデオなどのビデオをオンラインで購入するときは、「iTunes」で Apple アカウントを設定してから、目的の曲やビデオを探して購入します。Apple アカウントをすでに持っている場合、または AOL（America Online）アカウントを持っている場合は、そのアカウントを使って iTunes Store にサインインし、曲やビデオを購入できます（このオプションは一部の国でのみ利用可能です）。

iTunes Store にサインインするには：

- 「iTunes」を開きます：
  - すでに iTunes アカウントがある場合は、「Store」＞「サインイン」と選択します。
  - まだ iTunes アカウントがない場合は、「Store」＞「アカウントを作成」と選択し、画面上の指示に従って Apple アカウントを作成するか、既存の Apple アカウント情報または AOL アカウント情報を入力します。

iTunes Store でビデオをブラウズするには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで「iTunes Store」をクリックします。

2 「Music Store」の下にある項目をクリックします。

アルバムやその他のコンテンツの一部としてのミュージックビデオもあります。

「iTunes」および iTunes Store 内のビデオの横には、ディスプレイのアイコンが表示されます。

ビデオを購入するには：

1 「ソース」パネルで「iTunes Store」をクリックし、購入したい項目を探します。

2 「ビデオを購入」をクリックします。

購入したビデオは、「ムービー」（「ライブラリ」内）、または「購入したもの」（「Store」内）をクリックすると表示されます。

ビデオ Podcast をダウンロードするには：

ビデオ Podcast は、iTunes Store 内でほかの Podcast と一緒に表示されます。ビデオ Podcast もほかの Podcast と同様に、登録してダウンロードすることができます。Podcast をダウンロードするのに、iTunes Store アカウントは必要ありません。手順については 17 ページの「iTunes Store を使って曲を購入する／ Podcast をダウンロードする」を参照してください。

自分で制作／用意したビデオを iPod で扱えるように変換する

自分で iMovie（Macintosh 上の）を使って制作したビデオやインターネットでダウンロードしたビデオなど、ほかのビデオファイルを iPod で観ることができます。ビデオを「iTunes」に読み込み、必要に応じて iPod で使用できるように変換してから、iPod に読み込みます。

「iTunes」は、QuickTime が対応しているすべてのビデオ形式に対応しています。

iTunes にビデオを読み込むには：

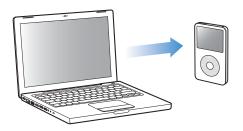
- iTunes ライブラリにビデオファイルをドラッグします。

ビデオによっては、「iTunes」に一度読み込めば、iPod で使用できるようになるものもあります。ビデオを iPod に読み込もうとすると（手順については 34 ページの「ビデオを自動的に同期させる」を参照してください）iPod では再生できないというメッセージが表示される場合は、iPod を使用してビデオを変換する必要があります。

iPod で使用できるようにビデオを変換するには：

1 iTunes ライブラリでビデオを選択します。

2 「詳細」＞「選択項目を iPod 用に変換」と選択します。

ビデオの長さと内容によって、iPod で使用できるように変換する処理に数分から数時間かかることがあります。

参考：iPod で使用できるようにビデオを変換しても、元のビデオは iTunes ライブラリに残ります。

iPod 用にビデオを変換する方法について詳しくは、
www.info.apple.com/kbnum/n302758-ja を参照してください。

ビデオを iPod に読み込む

「iTunes」を使って、音楽とほぼ同じ要領で、ムービーやテレビ番組を iPod に読み込むことができます。iPod を接続したときにすべてのムービーやテレビ番組を iPod に自動的に同期するよう「iTunes」を設定したり、選択したプレイリストのみを同期するように「iTunes」を設定したりすることができます。または、ムービーやテレビ番組を手動で管理することができます。このオプションを使うと、iPod からすでにあるビデオを消去することなく、複数のコンピュータからビデオを読み込めます。

参考：ミュージックビデオは「iTunes」の「ミュージック」タブ内で曲と一緒に管理されます。21 ページの「音楽および Podcast を iPod に読み込む」を参照してください。

ビデオを自動的に同期させる

デフォルトでは、iPod をコンピュータに接続すると、すべてのビデオが自動的に同期されるように設定されています。この方法を利用すれば、ビデオを簡単に iPod に読み込むことができます。iPod をコンピュータに接続するだけで、ビデオ、およびその他の項目が自動的に追加され、接続を解除すれば再生を始めることができます。前回 iPod を接続した後に「iTunes」にビデオを追加している場合、それらのビデオは iPod に追加されます。「iTunes」からビデオを削除している場合、それらのビデオは iPod から削除されます。
iPod をコンピュータに接続したときに、ビデオが自動的に同期するように設定することができます。

iPod にビデオを同期させるには：

- iPod をコンピュータに接続します。自動的に同期するように iPod が設定されている場合は、アップデートが始まります。

重要：はじめて iPod を別のコンピュータに接続した場合に、自動同期が設定されていると、曲とビデオを自動的にアップデートするかどうかを確認するメッセージが表示されます。同意した場合は、iPod からすべての曲、ビデオ、およびその他の項目が削除され、そのコンピュータの曲、ビデオおよびその他の項目に置き換えられます。同意しなかった場合は、iPod 上にすでにあるビデオは削除しないで、ビデオを iPod に手動で読み込むことができます。「iTunes」には、購入した項目を iPod から別のコンピュータに同期する機能があります。詳しくは、「iTunes ヘルプ」を参照してください。

ビデオがコンピュータから iPod に同期されている間、「iTunes」の状況ウインドウに進行状況が表示され、「ソース」パネルの iPod アイコンが赤く点灯します。

アップデートが完了すると、「iPod のアップデートが完了しました。」(Mac OS X の場合) または「iPod の更新が完了しました。」(Windows の場合) というメッセージが「iTunes」に表示されます。

ムービーやテレビ番組を手動で管理するように「iTunes」を設定している場合でも、自動的に同期されるように後で「iTunes」を設定し直すことができます。iPod を手動で管理した後に、自動で同期するよう「iTunes」を設定すると、ライブラリには含まれていない iPod 上の項目は失われます。

iPod ですべてのムービーが自動的に同期されるように「iTunes」を設定し直すには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「ムービー」タブをクリックします。

2 「ムービーを同期する」を選択し、「すべてのムービー」を選択します。

3 「適用」をクリックします。

参考：「概要」パネルで「チェックマークのある項目だけを同期する」が選択されている場合は、「ムービー」ライブラリやほかのライブラリ内でチェックマークが付いている項目だけが同期されます。

iPod ですべてのテレビ番組が自動的に同期されるように「iTunes」を設定し直すには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「テレビ番組」タブをクリックします。

2 「次のものを同期する：... エピソード：」を選択し、ポップアップメニューから「すべての」を選択します。

3 「すべてのテレビ番組」を選択します。

4 「適用」をクリックします。

参考：「概要」パネルで「チェックマークのある項目だけを同期する」が選択されている場合は、「テレビ番組」ライブラリやほかのライブラリ内でチェックマークが付いている項目だけが同期されます。

選択したビデオを iPod に同期する

iTunes ライブラリ内のビデオの合計が iPod のディスク容量を超えている場合は、選択したビデオを iPod に同期するように「iTunes」を設定すると便利です。指定したビデオだけが iPod に読み込まれます。

選択したビデオ、または選択したプレイリスト（ビデオを含む）だけを同期することができます。最新のビデオや、未再生のビデオだけを同期することもできます。

未再生のムービー、または選択したムービーを iPod に同期するよう「iTunes」を設定するには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「ムービー」タブをクリックします。

2 「ムービーを同期する」を選択します。

3 同期したいムービーまたはプレイリストを選択します。

未再生のムービー：「... 未再生ムービー」を選択し、ポップアップメニューから同期したい数を選択します。

選択したムービーまたはプレイリスト：「選択した」をクリックし、ポップアップメニューから「ムービー」または「プレイリスト」を選択して、同期したいムービーまたはプレイリストを選択します。

4 「適用」をクリックします。

参考：「概要」パネルで「チェックマークのある項目だけを同期する」が選択されている場合は、「ムービー」ライブラリやほかのライブラリ内でチェックマークが付いている項目だけが同期されます。

選択したテレビ番組を iPod に同期するよう「iTunes」を設定するには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「テレビ番組」タブをクリックします。
2 「次のものを同期する：... エピソード：」を選択し、ポップアップメニューから同期したいエピソードの数を選択します。
3 「選択した ...」をクリックし、ポップアップメニューから「テレビ番組」または「プレイリスト」を選択します。
4 同期したいムービーまたはプレイリストを選択します。
5 「適用」をクリックします。

参考：「概要」パネルで「チェックマークのある項目だけを同期する」が選択されている場合は、「テレビ番組」ライブラリやほかのライブラリ内でチェックマークが付いている項目だけが同期されます。

ビデオを手動で管理する

iPod を手動で管理できるように「iTunes」を設定すると、iPod のビデオをより柔軟に管理することができます。ムービー、テレビ番組やその他の項目を個別に追加したり、削除することができます。また、すでに iPod 上にあるビデオを削除せずに、複数のコンピュータ上のビデオを iPod に読み込むこともできます。23 ページの「iPod を手動で管理する」を参照してください。

ビデオ Podcast を iPod に読み込む

iPod にビデオ Podcast を読み込む方法は、ほかの Podcast を読み込む場合と同じです（23 ページを参照）。Podcast にビデオ構成要素が含まれる場合、「ビデオ」>「ビデオ Podcast」から Podcast を選択すると、ビデオが再生されます。

ビデオを観る／聴く

ビデオを iPod で視聴することができます。iPodAV ケーブル（www.apple.com/jp/ipodstore から別途購入できます）を使用すると、iPod のビデオをテレビで観ることができます。

iPod でビデオを観る／聴く

iPod に読み込んだビデオは「ビデオ」メニューに表示されます。「ミュージックビデオ」も「ミュージック」メニューに表示されます。「ビデオ」メニューからビデオを選択した場合（たとえば、「ビデオ」>「ミュージックビデオ」と選択）、ビデオを観て聴くことができます。「ミュージック」メニューからミュージックビデオを選択した場合（たとえば、「ミュージック」>「曲」と選択）、曲は聴こえますが、ビデオを観ることはできません。

ビデオを iPod で表示するには：

- 「ビデオ」を選択し、ビデオをブラウズします。

ミュージックビデオまたはビデオ Podcast のビデオを再生しないで音だけを聴くには：

- 「ミュージック」を選択し、ミュージックビデオまたはビデオ Podcast をブラウズします。

iPod に接続したテレビでビデオを観る

iPod AV ケーブルをお持ちの場合は、iPod に接続したテレビでビデオを観ることができます。まず、ビデオをテレビに表示するように iPod を設定し、それから iPod をテレビに接続し、そしてビデオを再生します。

ビデオをテレビに表示するように iPod を設定するには：

- 「ビデオ」>「ビデオ設定」と選択し、「TV 出力」を「確認」または「オン」に設定します。

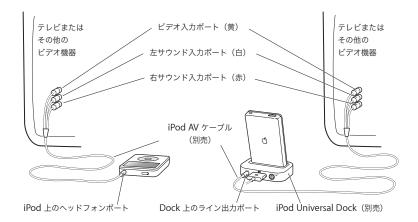
「TV 出力」を「確認」に設定した場合は、ビデオを再生するたびに、ビデオをテレビで表示するか、または iPod で表示するか、iPod で選択できます。

ワイドスクリーンまたはフルスクリーンで表示するようにビデオを設定したり、PAL または NTSC どちらの機器で観るかをビデオで設定したりすることができます。

テレビの設定をするには：

- 「ビデオ」>「ビデオ設定」と選択し、次の手順に従います。

設定内容	手順
ビデオをワイドスクリーンで表示する	「ワイドスクリーン」を「オン」に設定します。「ワイドスクリーン」を「オフ」に設定した場合、ビデオはフルスクリーンで表示されます。
ビデオを NTSC または PAL のテレビで表示する	「TV 信号」を「NTSC」または「PAL」に設定します。PAL および NTSC は、テレビ放送の規格です。お使いのテレビは、購入した地域によって、これらの規格のいずれかを使用しています。お使いのテレビで使用している規格が分からない場合は、テレビに付属のマニュアルを確認してください。

iPod をテレビに接続するには：

1. オプションの iPod AV ケーブルを iPod のヘッドフォンポートに接続します。

   参考：iPod 専用の iPodAV ケーブルを使用してください。ほかの類似の RCA タイプのケーブルでは機能しない場合があります。iPodAV ケーブルは、www.apple.com/jp/ipodstore から購入できます。

   また、iPod AV ケーブルを iPod Universal Dock のライン出力ポートに接続することもできます。

2. 次に示すように、ビデオコネクタおよびオーディオコネクタをテレビのポートに接続します。

テレビには、RCA のビデオポートとオーディオポートが必要です。

テレビでビデオを表示するには：

1 iPod をテレビに接続します（上記を参照）。

2 テレビの電源を入れ、iPod を接続した入力ポートから表示するように設定します。詳しくは、テレビに付属のマニュアルを参照してください。

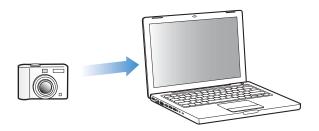
3 iPod で「ビデオ」を選択し、ビデオをブラウズします。

S ビデオを使用してテレビまたはその他の機器に iPod を接続するには：

写真をより鮮明に表示するために、S ビデオケーブルおよび iPod Universal Dock（共に別売）を使って、S ビデオに対応するテレビまたはその他の機器に iPod を接続することもできます。ビデオの音を聴くには、iPod AV ケーブルのオーディオ端子などのオーディオケーブルで、iPod Universal Dock のライン出力ポートとテレビや機器のオーディオ入力ポートを接続する必要があります。

写真の機能

4

デジタル写真をコンピュータに読み込むで、それらを iPod に読み込むことができます。撮った写真は iPod で表示したり、テレビにスライドショーとして表示したりできます。このセクションでは、写真を読み込んで表示する方法について説明します。

写真を読み込む

デジタル写真をデジタルカメラからコンピュータに読み込んでから、iPod に読み込みます。iPod をテレビに接続して、写真を BGM 付きスライドショーとして表示できます。

参考：オプションの iPod Camera Connector をお持ちの場合は、ほとんどの USB デジタルカメラまたは USB メモリ・カード・リーダーから iPod に写真を直接読み込めます(42 ページを参照)。

写真をカメラからコンピュータに読み込む

写真を、デジタルカメラやメモリ・カード・リーダーから読み込めます。

「iPhoto」を使って写真を Mac に読み込むには：

1 カメラまたはメモリ・カード・リーダーをコンピュータに接続します。「iPhoto」が自動的に開かない場合は、「iPhoto」を手動で開きます（「アプリケーション」フォルダにあります）。

2 「読み込み」をクリックします。

イメージがカメラから「iPhoto」に読み込まれます。

インターネットでダウンロードしたイメージなど、その他のデジタルイメージを「iPhoto」に読み込むことができます。写真やその他のイメージの読み込みと操作について詳しくは、「iPhoto」を開き、「ヘルプ」＞「iPhoto ヘルプ」と選択してください。

「iPhoto」は、アプリケーションスイートの「iLife」の一部として www.apple.com/jp/ilife から購入できます。「iPhoto」は、お使いの Mac の「アプリケーション」フォルダにすでにインストールされている場合もあります。

「iPhoto」がない場合、「イメージキャプチャ」を使用して、写真を読み込めます。

「イメージキャプチャ」を使って写真を Mac に読み込むには：

1 カメラまたはメモリ・カード・リーダーをコンピュータに接続します。

2 「」が自動的に開かない場合は、「イメージキャプチャ」を手動で開きます（「アプリケーション」フォルダにあります）。

3 特定の項目を読み込むときは、「一部をダウンロード」をクリックします。または、「すべてダウンロード」をクリックしてすべての項目をダウンロードします。

写真を Windows PC に読み込むには：

- お使いのデジタルカメラまたはフォトアプリケーションに付属の使用説明書に従ってください。

写真をコンピュータから iPod に読み込む

ハードディスク上のフォルダにある写真を iPod に読み込むことができます。Mac と iPhoto 4.0.3 以降をお持ちの場合、iPhoto アルバムを自動的に読み込むことができます。Windows PC と Adobe Photoshop Album 2.0 以降または Adobe Photoshop Elements 3.0 以降をお持ちの場合、写真コレクションを自動的に読み込むことができます。

はじめて写真を iPod に読み込む場合、写真ライブラリ内の写真の数によっては、しばらく時間がかかる場合があります。

フォトアプリケーションを使って、iPod に Mac または Windows PC から写真を読み込むには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「写真」タブをクリックします。

2 「写真の同期元：」を選択します。

- Mac の場合は、ポップアップメニューから「iPhoto」を選択します。
- Windows PC の場合は、ポップアップメニューから「Photoshop Album」または「Photoshop Elements」を選択します。

参考：「Photoshop Album」および「Photoshop Elements」のバージョンによっては、コレクションに対応していません。その場合でも、それらのバージョンを使ってすべての写真を読み込むことはできます。

3 すべての写真を読み込みたい場合は、「すべての写真とアルバム」を選択します。特定のアルバムまたはコレクションの写真だけを読み込みたい場合は、「選択したアルバム」を選択し、目的のアルバムまたはコレクションを選択します。

4 「適用」をクリックします。

iPod をコンピュータに接続するたびに、写真が自動的に読み込まれます。

写真をハードディスク上のフォルダから iPod に読み込むには：

1 目的のイメージをコンピュータ上のフォルダにドラッグします。

イメージを iPod 上の別のフォトアルバムに表示したい場合は、メインのイメージフォルダ内にフォルダを作成し、イメージをそれらの新しいフォルダにドラッグします。

2 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「写真」タブをクリックします。

3 「写真の同期元：」を選択します。

4 ポップアップメニューから「フォルダを選択」を選択し、イメージのフォルダを選択します。

5 「適用」をクリックします。

写真を iPod に読み込む際に、「iTunes」は写真を表示用に最適化します。フル解像度のイメージファイルは、デフォルトの設定では転送されません。フル解像度のイメージファイルの読み込みは、たとえばコンピュータ間でイメージを移動したい場合には便利ですが、iPod 上での最高品質でイメージを表示するためには必要ありません。

フル解像度のイメージを iPod に読み込むには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「写真」タブをクリックします。

2 「フル解像度の写真を含める」を選択します。

3 「適用」をクリックします。

「iTunes」は、フル解像度の写真を iPod の「Photos」フォルダにコピーします。

iPod の写真を削除するには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「写真」タブをクリックします。

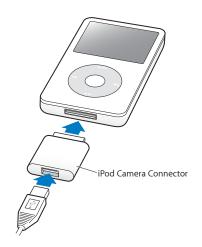
2 「写真の同期元：」を選択します。

- Mac の場合は、ポップアップメニューから「iPhoto」を選択します。
- Windows PC の場合は、ポップアップメニューから「Photoshop Album」または「Photoshop Elements」を選択します。

3 「選択したアルバム」を選択し、iPod 上では必要なくなったアルバムまたはコレクションを選択解除します。

4 「適用」をクリックします。

写真をカメラまたはメモリ・カード・リーダーから iPod に直接読み込む

オプションの iPod Camera Connector（www.apple.com/jp/ipodstore から購入できます）と、一般的なデジタルカメラまたはメモリ・カード・リーダーを使用すると、iPod に写真を保存して表示した後で、カメラまたはメモリカードからこれらの写真を削除すれば、さらにたくさんの写真を撮影することができます。その後、一般的なデジタルフォトアプリケーション（たとえば、Macintosh の「iPhoto」）を使用して、iPod から写真をコンピュータに転送できます。

iPod Camera Connector と互換性のある カメラやその他の機器については、www.apple.com/jp/ipod/compatibility/cameraconnector.html を参照してください。

参考：カメラまたはメモリ・カード・リーダーから iPod に直接転送した写真は、テレビでスライドショーとして表示することはできません。写真をスライドショーとしてテレビで表示するには、写真をコンピュータに転送してから、「iTunes」を使って iPod にもう一度読み込む必要があります。

写真を USB デジタルカメラまたはメモリ・カード・リーダーから iPod に読み込むには：

1 iPod の電源を入れて、iPod Camera Connector を取り付けます。

2 カメラ（またはメモリ・カード・リーダー）の電源を入れて、カメラに付属している USB ケーブルを使用して、iPod に接続します。

3 iPod で「読み込み」を選択します。

写真は iPod の「DCIM」（digital camera images）フォルダに保存されます。

読み込んだ写真を iPod に表示するには：

1 「写真」＞「写真の読み込み」と選択し、ロール番号を選択します。

メディアの種類、写真の枚数、ロールのサイズが表示されます。

2 「ブラウズ」を選択します。表示されるまでに少し時間がかかることがあります。全画面で表示するときは、その写真を選択します。

参考：「写真の読み込み」メニュー項目は、写真をカメラまたはメモリ・カード・リーダーから直接転送するとき以外は表示されません。

カメラまたはメモリカードから写真を消去するには：

1 カメラまたはメモリカードから写真を読み込みます（前述を参照）。

2 「カードを消去」を選択します。カメラまたはメモリカードから写真がすべて消去されます。

写真を iPod からコンピュータに読み込む

前出の手順で、コンピュータから iPod にフル解像度の写真を読み込んだ場合は、iPod の「Photos」フォルダに写真が保存されます。写真をカメラまたはメモリ・カード・リーダーから iPod に直接読み込むと（上記を参照）、写真は iPod の「DCIM」フォルダに保存されます。iPod をコンピュータに接続して、これらの写真をコンピュータに読み込むことができます。iPod をディスクとして使用するように設定しておく必要があります（46 ページの「iPod を外部ディスクとして使用する」を参照）。

写真を iPod からコンピュータに読み込むには：

1 iPod をコンピュータに接続します。

2 iPod の「Photos」フォルダまたは「DCIM」フォルダから、コンピュータのデスクトップまたはフォト編集アプリケーションに、イメージファイルをドラッグします。

参考：「iPhoto」などの写真編集アプリケーションを使って、「Photos」フォルダに保存された写真を読み込むこともできます。詳しくは、アプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

iPod の「Photos」フォルダから写真を削除するには：

1 iPod をコンピュータに接続します。

2 「Finder」で iPod の「Photos」フォルダを開き、必要なくなった写真を削除します。

写真を表示する

iPod では、写真を手動で表示したり、スライドショーとして表示したりできます。オプションの iPodAV ケーブルをお持ちの場合は、iPod をテレビに接続して、写真を BGM 付きスライドショーとして表示できます。

写真を iPod に表示する

写真を iPod に表示するには：

1 iPod で、「写真」＞「フォトライブラリ」と選択します。または、「写真」を選択し、フォトアルバムを選択して、アルバム内の写真だけを表示します。写真のサムネールが表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

2 フルスクリーンのバージョンで表示するときは、目的の写真に移動し、「センター」ボタンを押します。

写真を表示する画面になっているときに、クリックホイールを使って写真をスクロールします。次の画面または前の画面の写真を表示するときは、「次へ／早送り」ボタンまたは「前へ／巻き戻し」ボタンを押します。ライブラリ内またはアルバム内の最後または最初の写真を表示するときは、「次へ／早送り」ボタンまたは「前へ／巻き戻し」ボタンを押し続けます。

スライドショーを表示する

スライドショーは、iPod で表示でき、BGM とトランジションを選ぶこともできます。オプションの iPod AV ケーブルをお持ちの場合は、スライドショーをテレビで表示することもできます。

スライドショーを設定するには：

- 「写真」＞「スライドショー設定」と選択し、次の手順に従います：

設定内容	手順
スライドショーを iPod に表示する	「TV 出力」を「確認」または「オフ」に設定します。
スライドショーをテレビに表示する	「TV 出力」を「確認」または「オン」に設定します。「TV 出力」を「確認」に設定した場合は、スライドショーを開始するたびに、スライドショーをテレビで表示するか、または iPod で表示するか、iPod で選択できます。
次のスライドが表示されるまでの時間	「スライドの再生時間」を選択し、時間を選びます。
スライドショー中に再生する音楽	「ミュージック」を選択し、プレイリストを選びます。「iPhoto」を使用している場合、「iPhoto から」を選択して、「iPhoto」の音楽設定をコピーできます。再生されるのは、iPod に読み込んだ曲だけです。
スライドをリピートする	「リピート」を「オン」に設定します。
スライドをランダムな順序で表示する	「写真をシャッフル」を「オン」に設定します。
スライドをトランジションで表示する	「トランジション」を選択し、トランジションのタイプを選択します。
スライドを NTSC または PAL のテレビで表示する	「TV 信号」を「NTSC」または「PAL」に設定します。PAL および NTSC は、テレビ放送の規格です。お使いのテレビは、購入した地域によって、これらの規格のいずれかを使用しています。お使いのテレビで使用している規格が分からない場合は、テレビに付属のマニュアルを確認してください。

スライドショーを iPod で表示するには：

- 写真、アルバム、またはロールを選択し、「再生」ボタンを押します。または、全画面の写真を選択し、「センター」ボタンを押します。一時停止するには、「再生／一時停止」ボタンを押します。次の写真または前の写真を表示するには、「次へ／早送り」ボタンまたは「前へ／巻き戻し」ボタンを押します。

iPod をテレビに接続するには：

1 オプションの iPod AV ケーブルを iPod のヘッドフォンポートに接続します。

参考：iPod 専用の iPodAV ケーブルを使用してください。ほかの類似の RCA タイプのケーブルでは機能しません。iPodAV ケーブルは、www.apple.com/jp/ipodstore から購入できます。

また、iPod AV ケーブルを iPod Universal Dock のライン出力ポートに接続することもできます。

2 ビデオコネクタおよびオーディオコネクタテレビのポートに接続します（37 ページのイラストを参照）。

テレビには、RCA のビデオポートとオーディオポートが必要です。

テレビでスライドショーを表示するには：

1 iPod をテレビに接続します（上記を参照）。

2 テレビの電源を入れ、iPod を接続した入力ポートから表示するように設定します。詳しくは、テレビに付属のマニュアルを参照してください。

3 iPod で、写真またはアルバムを選択し、「再生」ボタンを押します。または、全画面の写真を選択し、「センター」ボタンを押します。一時停止するには、「再生／一時停止」ボタンを押します。次の写真または前の写真を表示するには、「次へ／早送り」ボタンまたは「前へ／巻き戻し」ボタンを押します。

「写真」＞「スライドショー設定」＞「ミュージック」でプレイリストを選択した場合、スライドショーを開始するとそのプレイリストが自動的に再生されます。テレビに写真が表示され、「スライドショー設定」メニューの設定に従って自動的に進んでいきます。

S ビデオを使用してテレビまたはその他の機器に iPod を接続するには：

写真をより鮮明に表示するために、S ビデオケーブルおよび iPod Universal Dock を使って、S ビデオに対応するテレビまたはその他の機器に iPod を接続することもできます。スライドショーの BGM を聴くには、オーディオケーブルで iPod Universal Dock のライン出力ポートとテレビや機器のオーディオ入力ポートを接続する必要があります。

その他の機能とアクセサリ

5

iPod でできるのは、曲の再生だけではありません。音楽を聴く以外に、さまざまな使いかたができます。

このセクションでは、外部ディスク、アラーム、スリープタイマーとして使用したり、世界の他の都市の日時を表示したり、アドレスデータ、カレンダー、To Do リスト、メモを同期する方法など、iPod のその他の機能について説明します。iPod をストップウォッチとして使用する方法、画面のロック、および iPod 用のアクセサリについて学習しましょう。

iPod を外部ディスクとして使用する

iPod を外部ディスクとして使用して、データファイルを保存できます。

参考：iPod に音楽やその他のオーディオファイルまたはビデオファイルを読み込むときは、「iTunes」を使う必要があります。たとえば、「iTunes」を使って読み込んだ曲は、Macintosh の「Finder」や Windows の「エクスプローラ」上では見えません。同様に、Macintosh の「Finder」または Windows の「エクスプローラ」を使って音楽ファイルを iPod にコピーしても、それらの音楽ファイルは iPod では再生できません。

iPod を外部ディスクとして使用するには：

1. 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「概要」タブをクリックします。
2. 「オプション」セクションにある「ディスクとして使用する」を選択します。
3. 「適用」をクリックします。

iPod を外部ディスクとして使用すると、Mac では、デスクトップに iPod のディスクアイコンが表示されます。Windows PC では、Windows の「エクスプローラ」に、次に利用できるドライブ文字を使ってディスクアイコンが表示されます。

参考：「概要」をクリックし、「オプション」セクションの「音楽とビデオを手動で管理する」を選択した場合も、iPod を外部ディスクとして使用できるようになります。ファイルをコピーするには、ファイルを iPod へ、または逆にコピー先へドラッグします。

iPod を主にディスクとして使用する場合、iPod を接続したときに、「iTunes」が自動的に開かないようにすることができます。

コンピュータに iPod を接続したときに「iTunes」が自動的に開かないようにするには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「概要」タブをクリックします。

2 「オプション」セクションにある「この iPod の接続時に iTunes を開く」の選択を解除します。

3 「適用」をクリックします。

その他の設定を使用する

iPod で、日付と時刻、異なる時間帯の時計、およびアラームとスリープ機能を設定することができます。iPod をストップウォッチとして使用したり、ゲームで遊んだり、iPod の画面をロックすることができます。

日時を設定する／表示する

お使いのコンピュータに iPod を接続したとき、日付と時刻はコンピュータを使って自動的に設定されますが、設定を自分で変更することもできます。

日付と時刻のオプションを設定するには：

1 「設定」>「日付と時刻」と選択します。

2 次のオプションから 1 つ、または複数を選択します：

操作	手順
時間帯を設定する	「時間帯を設定」を選択し、リストから時間帯を選びます。
日付と時刻を設定する	「日付と時刻を設定」を選択します。選択した値を変更するには、クリックホイールを使います。次の値に移動するときは、「センター」ボタンを押します。
時間を別のフォーマットで表示する	「時刻」を選択し、「センター」ボタンを押して、12 時間表示と 24 時間表示を切り替えます。
タイトルバーに時間を表示する	「時刻表示」を選択し、「センター」ボタンを押してオンとオフを切り替えます。

ほかの時間帯の時計を追加する

iPod の画面にほかの時間帯の時計を追加するには：

1 「エクストラ」>「時計」と選択します。

2 「新しい時計」を選択します。

3 地域、そして都市を選びます。

追加した時計がリストに表示されます。最後に追加した時計は、リストの最後に表示されます。

時計を削除するには：

1 時計を選びます。

2 「この時計を削除」を選択し、次の画面で「削除」を選んで確定します。

アラームを設定する

どの時計のアラームでも iPod に設定できます。

iPod を時計のアラームとして使用するには：

1 「エクストラ」>「時計」と選択してから、アラームを設定する時計を選びます。

2 「時計のアラーム」を選択します。

3 「アラーム」を「オン」に設定します。

4 「時刻」を選択し、アラーム音を鳴らす時刻を設定します。

5 音を選びます。

「ビープ音」を選択すると、内蔵スピーカーからアラームが聞こえます。プレイリストを選択した場合、アラームが聞こえるようにするには、iPod をスピーカーまたはヘッドフォンに接続する必要があります。

アラームを設定した時計の横には、ベルのアイコンが表示されます。

スリープタイマーを設定する

一定時間音楽またはスライドショーを再生した後、iPod の電源が自動的に切れるように設定することができます。

スリープタイマーを設定するには：

1 「エクストラ」>「時計」と選択してから、時計を選びます。

2 「スリープタイマー」を選択し、スリープするまでに iPod で再生する時間を選びます。

スリープタイマーを設定すると、「再生中」画面に、時計アイコンと、iPod の電源が切れるまでの残り分数が表示されます。

ストップウォッチを使用する

運動トレーニングで時間を計測したり、トラックを走る際にラップタイムを取るときなどに、ストップウォッチを使用できます。ストップウォッチを使用している間でも音楽を再生できます。

ストップウォッチを使用するには：

1 「エクストラ」>「ストップウォッチ」>「タイマー」と選択します。

2 「開始」を選択して、タイマーを開始します。

3 ラップタイムを記録する各ラップの後に「ラップ」を選択します。

ストップウォッチセッションの総計時間と、ラップタイムが最新順に画面に表示されます。

4 総時間タイマーとラップタイマーを停止するには「一時停止」を選択し、タイマーを再び開始するには「再開」を選択します。

5 セッションを終了するには「完了」を選択します。

ストップウォッチのセッションは、日付、時刻、およびラップの統計が iPod に記録されます。

参考：ストップウォッチを開始した後は、タイマー画面を表示してタイマーを動かし続けている限り、iPod はオンのままになります。ストップウォッチを開始した後で別のメニューに移動した場合、iPod で音楽やビデオを再生中でないときは、数分後にストップウォッチのタイマーが停止し、iPod が自動的にオフになります。

ストップウォッチのセッションを表示する／削除するには：

1 「エクストラ」＞「ストップウォッチ」と選択します。

保存したセッションのリストは、「タイマー」メニューの後ろに表示されます。

2 セッション情報を表示するセッションを選びます。

セッションを開始した日付と時刻、セッションの総計時間、最短、最長、平均ラップタイム、および最新順のラップタイムが表示されます。

3 セッションを削除するには、「センター」ボタンを押し、「削除」を選択します。

ゲームで遊ぶ

iTunes Store からゲームを購入して iPod で遊ぶことができます。ゲームを「iTunes」で購入したら、自動的に同期して、または手動で管理して iPod に読み込むことができます。

ゲームを購入するには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで「iTunes Store」をクリックします。

2 「iTunes Store」のジャンルリストから「ゲーム」を選択します。

3 購入したいゲームを選択して「ゲームを購入」をクリックします。

iPod にゲームを自動的に同期させるには：

1 「iTunes」の「ソース」パネルで「iPod」をクリックし、「ゲーム」タブを選択します。

2 「ゲームを同期する」を選択します。

3 「すべてのゲーム」または「選択したゲーム」をクリックします。「選択したゲーム」をクリックした場合は、同期したいゲームも選択します。

4 「適用」をクリックします。

ゲームで遊ぶには：

- 「エクストラ」＞「ゲーム」と選択し、ゲームを選択します。

iPod の画面をロックする

iPod を許可なく他人が使用するのを防ぐために、番号によるロックを設定することができます。コンピュータに接続していない iPod をロックした場合、iPod を使用するには、番号を入力してロックを解除する必要があります。

参考：これは、「ホールド」ボタンが、間違って iPod の電源が入るのを防ぐこととは異なります。他人が iPod を使用するのを、番号によって防ぐことができます。

iPod に番号を設定するには：

1 「エクストラ」＞「画面のロック」＞「番号を設定」と選択します。

2 「新しい番号を入力」画面で、番号を入力します：

- クリックホイールを使って、番号の最初の数字を選択します。「センター」ボタンを押してその数字を確定し、次の数字に移動します。
- 同様の方法で、番号の残りの数字も設定します。「次へ／早送り」ボタンで次の数字へ、「前へ／巻き戻し」ボタンで前の数字へ移動できます。番号の最後の数字で「センター」ボタンを押すと、番号全体が確定して前の画面に戻ります。

完了したら、「画面のロック」画面に戻ります。

iPod の画面をロックするには：

- 「エクストラ」＞「画面のロック」＞「画面をロックする」＞「ロック」と選択します。

番号の設定を完了した直後の場合には、画面上で「ロック」が選択されています。iPod をロックするには、「センター」ボタンを押します。

ヒント：メインメニューに「画面のロック」メニュー項目を追加すると、すぐに iPod の画面をロックすることができます。9 ページの「メインメニューの項目を追加する／取り除く」を参照してください。

iPod の画面は、以下の 2 つの方法でロック解除できます：

- クリックホイールを使って数字を選んで、番号を iPod に入力し、「センター」ボタンを押して確定します。間違った番号を入力すると、数字が赤く点滅します。もう一度試してください。
- 主に一緒に使用するコンピュータに iPod を接続すると、iPod は自動的にロックを解除します。

参考：これらの方法を試しても iPod のロックを解除できない場合、iPod を復元することができます。62 ページの「iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する」を参照してください。

すでに設定した番号を変更するには：

1 「エクストラ」＞「画面のロック」＞「番号を変更」と選択します。

2 「古い番号を入力」画面で、現在の番号を入力します。

3 「新しい番号を入力」画面で、新しい番号を入力します。

参考：現在の番号を思い出せない場合は、iPod ソフトウェアを復元しないと、現在の番号を消去して新しい番号を入力することはできません。62 ページの「iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する」を参照してください。

アドレスデータ、カレンダー、および To Do リストを同期する

アドレスデータ、カレンダーのイベント、To Do リストを iPod に保存すれば、外出先でも確認することができます。

Mac OS X v10.4 以降を使用している場合は、「iTunes」を使って、iPod 上のアドレスデータとカレンダー情報を、「アドレスブック」および「iCal」と同期させることができます。10.4 より前のバージョンの Mac OS X を使用している場合は、「iSync」を使って情報を同期させることができます。「iSync」を使って情報を同期させるには、iSync 1.1 以上、および iCal 1.0.1 以上が必要です。

Windows 2000またはWindows XPを使用していて、Outlook ExpressまたはMicrosoft Outlook 2003 以降を使ってアドレスデータの情報を保存している場合は、「iTunes」を使って iPod 上のアドレスデータを同期させることができます。Microsoft Outlook 2003以降を使ってカレンダーを管理している場合は、カレンダー情報も同期させることができます。

Mac OS X v10.4 以降で、アドレスデータまたはカレンダー情報を同期するには：

1 iPod をコンピュータに接続します。

2 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「アドレスデータ」タブをクリックします。

3 次のいずれかを行います：

- アドレスデータを同期するには、「アドレスデータ」セクションにある「アドレスブックのアドレスデータを同期する」を選択し、オプションを選択します：
  - すべてのアドレスデータを自動的に同期する場合は、「すべてのアドレスデータ」を選択します。
  - 選択したアドレスデータグループを自動的に同期する場合は、「選択したグループ」をクリックし、同期したいグループを選びます。
  - アドレスデータの写真がある場合、iPod にコピーするには「アドレスデータの写真を含める」を選択します。

  「適用」をクリックすると、指定した「アドレスブック」のアドレスデータ情報を使用して iPod がアップデートされます。

- カレンダーを同期するには、「カレンダー」セクションにある「iCal カレンダーを同期する」を選択し、オプションを選択します：
  - すべてのカレンダーを自動的に同期する場合は、「すべてのカレンダー」を選択します。
  - 選択したカレンダーを自動的に同期する場合は、「選択したカレンダー」を選択し、同期したいカレンダーを選びます。

  「適用」をクリックすると、指定したカレンダー情報を使用して iPod がアップデートされます。

バージョン 10.4 より前の Mac OS X で、Mac と「iSync」を使ってアドレスデータおよびカレンダー情報を同期するには：

1 iPod をコンピュータに接続します。

2 「iSync」を開き、「デバイス」＞「デバイスの追加」と選択します。この手順を実行する必要があるのは、iPod で「iSync」をはじめて使用するときだけです。

3 iPod を選択して、「今すぐ同期」をクリックします。「iSync」によって、「iCal」および「アドレスブック」の情報が iPod に読み込まれます。

次回 iPod を同期するときは、「iSync」を開いて「今すぐ同期」をクリックするだけで読み込むことができます。また、iPod を接続したときに自動的に同期するように設定することもできます。

参考：「iSync」によって、コンピュータの情報が iPod に読み込まれます。iPod の情報をコンピュータに読み込むことはできません。

Windows 用 Microsoft Outlook または Windows 用 Outlook Express を使用して、アドレスデータまたはカレンダー情報を同期するには：

1 iPod をコンピュータに接続します。

2 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「アドレスデータ」タブをクリックします。

3 次のいずれかを行います：

- アドレスデータを同期するには、「アドレスデータ」セクションにある「次の場所からアドレスデータを同期する」を選択し、ポップアップメニューから「Microsoft Outlook」または「Outlook Express」を選びます。次に、同期したいアドレスデータの情報を選択します。
- Microsoft Outlook のカレンダーを同期するには、「カレンダー」セクションにある「Microsoft Outlook からカレンダーを同期する」を選択します。

4 「適用」をクリックします。

アドレスデータやカレンダー情報を手動で iPod に読み込むこともできます。iPod を外部ディスクとして使用するように設定しておく必要があります（46 ページの「iPod を外部ディスクとして使用する」を参照）。

アドレスデータを手動で読み込むには：

1 iPod をコンピュータに接続し、お使いのメールアプリケーションまたはアドレスデータアプリケーションを開きます。アドレスデータを読み込めるアプリケーションには、「Palm Desktop」、「Microsoft Outlook」、「Microsoft Entourage」、「Eudora」などがあります。

2 アプリケーションのアドレスブックから、iPod の「Contacts」フォルダにアドレスデータをドラッグします。

場合によっては、アドレスデータを書き出してから、書き出したファイルを iPod の「Contacts」フォルダにドラッグする必要があります。お使いのメールアプリケーションまたはアドレスデータアプリケーションのマニュアルを参照してください。

重要な予定やカレンダーのイベントを手動で読み込むには：

1 標準の iCalendar 形式（ファイル名の最後に「.ics」が付きます）または vCal 形式（ファイル名の最後に「.vcs」が付きます）を使用する予定表アプリケーションから、予定表のイベントを書き出します。

2 書き出したファイルを iPod の「Calendars」フォルダにドラッグします。

参考：To Do リストを手動で iPod に読み込むには、それらをカレンダーファイル（拡張子に「.ics」または「.vcs」が付きます）として保存します。

iPod にアドレスデータを表示するには：

- 「エクストラ」＞「アドレスデータ」と選択します。

カレンダーのイベントを表示するには：

- 「エクストラ」＞「カレンダー」と選択します。

To Do リストを表示するには：

- 「エクストラ」＞「カレンダー」＞「To Do」と選択します。

メモを保存する／読む

iPod を外部ディスクとして使用するように設定している場合は、テキストメモを保存して読むことができます（46 ページを参照）。

1. ワードプロセッサの書類をテキスト（.txt）ファイルとして保存します。
2. それらのファイルを iPod の「Notes」フォルダに入れます。

メモを表示するには：

- 「エクストラ」＞「メモ」と選択します。

ボイスメモを録音する

オプションの iPod 互換マイクロフォン（www.apple.com/jp/ipodstore から購入できます）を使用して、ボイスメモを録音することができます。ボイスメモを iPod に格納して、使用しているコンピュータに読み込むことができます。容量を節約するために低品質のモノラル（22.05 kHz）で録音するように、または、より良いサウンドを得るために高品質のステレオ（44.1 kHz）で録音するように、iPod を設定できます。

参考：ボイスメモは 2 時間を超えることはできません。2 時間を超えて録音する場合は、iPod は自動的に新しいボイスメモを開始して、録音を続けます。

ボイスメモを録音するには：

1. iPod の Dock コネクタポートにマイクロフォンを接続します。
2. 「品質」を「低」または「高」に設定します。
3. 録音を開始するには「録音」を選択します。
4. 口から 10cm ほど離れたところにマイクロフォンを持ち、話します。録音を一時停止するには「一時停止」を選択します。
5. 完了したら、「停止」、「保存」を選択します。保存した録音内容が、録音日時順に表示されます。

録音した内容を再生するには：

- 「エクストラ」＞「ボイスメモ」と選択し、再生したい録音を選択します。

参考：iPod に一度もマイクロフォンを接続したことがない場合は、「ボイスメモ」メニューは表示されません。

コンピュータにボイスメモを読み込むには：

ボイスメモは iPod の「Recordings」フォルダに WAV ファイル形式で保存されています。iPod をディスクとして使用する場合は、ボイスメモをフォルダからドラッグしてコピーできます。

iPod が曲を自動で同期するように設定されている状態で（21 ページの「音楽を自動的に同期させる」を参照）、ボイスメモを録音すると、iPod を接続したときに、ボイスメモが「iTunes」のプレイリストに自動で同期されます（ボイスメモは iPod からは削除されます）。新しいボイスメモプレイリストが「ソース」パネルに表示されます。

iPod のアクセサリについて学習する

iPod にはいくつかのアクセサリが付属しています。そのほかにも、www.apple.com/jp/ipodstore から、さまざまなアクセサリを購入できます。

iPod のアクセサリは、www.apple.com/jp/ipodstore から購入できます。

次のアクセサリを購入できます：

- iPod Radio Remote
- iPod Universal Dock
- iPod Camera Connector
- iPod AV Cable（iPod AV ケーブル）
- iPod USB Power Adapter（iPod USB 電源アダプタ）
- iPod In-Ear Headphones（iPod インイヤー式ヘッドフォン）
- World Travel Adapter Kit（ワールドトラベルアダプタキット）
- iPod AV Connection Kit
- iPod Hi-Fi
- iPod 用レザーケース
- iPod ソックス
- iPod イヤフォン
- スピーカー、ヘッドセット、ケース、マイクロフォン、カーステレオ用アダプタ、電源アダプタ、ボイスレコーダなどの他社製アクセサリ

イヤフォンを使用するには：

- イヤフォンをヘッドフォンポートにつなぎます。そして、図のようにイヤーバッドを耳に挿入します。

警告：ハンズフリーヘッドセットやヘッドフォンを大音量で使用すると、聴覚を損なうおそれがあります。大音量で再生を続けていると、耳が慣れ、通常の音量のように聴こえることがありますが、聴覚が損なわれている可能性があります。耳鳴りがする場合や話がよく聞こえない場合は、聴くのを中止して、聴力検査を受けてください。音量が大きい程、聴覚に影響を受けるまでの時間が早くなります。聴覚の専門家は、次のような方法で聴覚を保護することを勧めています：

- 大音量でハンズフリーヘッドセットやヘッドフォンを使用する時間を制限します。
- 周囲の騒音を遮断する目的で、音量を上げることを避けます。
- 近くで人が話す声が聞こえない場合には、音量を下げます。

iPod の最大音量の制限を設定する方法について詳しくは、27 ページの「最大音量の制限を設定する」を参照してください。

ヒントとトラブルシューティング

6

iPod で発生した問題のほとんどは、この章のアドバイスに従ってすばやく解決できます。

5 つの「R」：リセット（Reset）、再試行（Retry）、再起動（Restart）、再インストール（Reinstall）、復元（Restore）

iPod で問題が起こった場合、これら 5 つの基本的な提案を思い出してください。問題が解決するまで、これらのステップを 1 つずつお試しください。もし下記のどれでも解決しない場合には、特定の問題の解決法の個所を読んでください。

- リセット：下記の「一般的な提案」を参照してください。
- 再試行：「iTunes」に iPod が表示されない場合、別の USB ポートで再度試してみます。
- 再起動：コンピュータを再起動し、最新のソフトウェア・アップデートをインストールしていることを確認します。
- 再インストール：Web にある最新バージョンの「iTunes」ソフトウェアを再インストールします。
- 復元：iPod を復元します。62 ページの「iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する」を参照してください。

一般的な提案

iPod で発生した問題のほとんどは、本体をリセットすることで解決できます。まず、iPod が充電されていることを確認します。

iPod をリセットするには：

1 ホールドスイッチのオン／オフを切り替えます（ホールドスイッチをホールドに設定してから、もう一度元に戻します）。

2 「メニュー」ボタンと「センター」ボタンを同時に押し、Apple ロゴが表示されるまで、6 秒以上押し続けます。

iPod の電源が入らない／動かない

- ホールドスイッチがホールドに設定されていないことを確認します。

- iPodのバッテリーの再充電が必要な場合もあります。iPod をコンピュータ、またはApple iPod 電源アダプタに接続して、バッテリーの再充電をします。iPod の画面に稲妻のアイコンが表示されていることを確認し、iPod が充電されていることを確認します。

  バッテリーを充電するには、iPod をコンピュータの高電力型 USB または FireWire ポートに接続します。iPod をキーボードの USB ポートに接続しても、バッテリーは充電されません。iPod のバッテリーを充電する場合のみ、オプションの FireWire ケーブル用 iPod Dock コネクタを使って、iPod を FireWire ポートに接続できます。FireWire を使用した iPod への情報の読み込みはサポートされていません。
- iPod が反応するまで、「5 つの R」を、1 つずつ試します。

iPod を取り外したいが「接続を解除しないでください。」というメッセージが表示されている

- iPod が音楽を読み込み中の場合は、読み込みが完了するまでお待ちください。
- 「ソース」パネルで iPod を選択し、取り出し（⏏）ボタンをクリックします。
- iPod が「iTunes」の「ソース」パネルのデバイスのリストから消えたのに、iPod 画面には「接続を解除しないでください。」のメッセージが表示されたままの場合は、気にせず iPod を取り外してください。
- iPod が「iTunes」の「ソース」パネルのデバイスのリストから消えない場合は、デスクトップにある iPod のアイコンを「ゴミ箱」にドラッグするか（Mac の場合）、システムトレイで「ハードウェアを安全に取り外す」アイコンをクリックし、お使いの iPod を選択してください（Windows PC の場合）。それでも「接続を解除しないでください。」メッセージが表示されたままの場合は、コンピュータを再起動してもう一度 iPod を取り出してください。

iPod で音楽を再生できない

- ホールドスイッチがホールドに設定されていないことを確認します。
- ヘッドフォンのコネクタがしっかりと差し込まれていることを確認します。
- 音量が正しく調節されていることを確認します。音量バーの右側にロックアイコンが表示されている場合は、最大音量の制限が設定されています。「設定」＞「音量制限」と選択すれば、制限を変更または解除できます。27 ページの「最大音量の制限を設定する」を参照してください。
- iPod が一時停止の状態になっている可能性があります。「再生／一時停止」ボタンを押してみます。
- iTunes 7以降を使用していることを確認します（www.apple.com/jp/ipod/startにアクセスしてください）。これより前のバージョンの「iTunes」を使って iTunes Store から購入した曲は、「iTunes」をアップグレードしないと、iPod で再生されません。
- iPod Dock を使用する場合は、必ず iPod を Dock にしっかりと固定し、すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- Dock のライン出力ポートを使用している場合、外部スピーカーまたはステレオの電源が入っており、正常に動作していることを確認します。

iPod をコンピュータに接続しても何も起こらない場合

- www.apple.com/jp/ipod/start にある最新版の「iTunes」ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。

- お使いのコンピュータの別の USB ポートに接続してみてください。

  参考：iPod の接続には、USB 2.0 ポートの使用をお勧めします。USB 1.1 は、USB 2.0 に比べてかなり低速です。お使いの Windows PC に USB 2.0 ポートがない場合でも、USB 2.0 カードを購入して取り付けることができる場合があります。詳しくは、www.apple.com/jp/ipod を参照してください。

  バッテリーを充電するには、iPod をコンピュータの高電力型 USB または FireWire ポートに接続します。iPod をキーボードの USB ポートに接続しても、バッテリーは充電されません。iPod のバッテリーを充電する場合のみ、オプションの FireWire ケーブル用 iPod Dock コネクタを使って、iPod を FireWire ポートに接続できます。FireWire を使用した iPod への情報の転送はサポートされていません。
- iPod のリセットが必要な場合があります（56 ページを参照）。
- iPod の電力が非常に少ないときは、USB ポートに接続してから本体の電源が入るまでに、最大 30 分かかることがあります。充電中は、画面が最大 30 分間暗いままになります。十分に充電されるまで、iPod を接続したままにしてください。iPod USB 電源アダプタ（別売）をお持ちの場合は、iPod をより早く充電できます。
- USB 2.0ケーブル用のiPod Dockコネクタを使ってノートコンピュータにiPodを接続する場合は、iPod を接続する前にノートコンピュータを電源コンセントに接続します。
- お使いのコンピュータとソフトウェアがシステム条件に合っていることを確認します。60 ページの「システム条件を再確認したい場合」を参照してください。
- ケーブルの接続を確認します。ケーブルを両方の本体から外し、USB ポートに異物が入り込んでいないことを確認します。確認後、ケーブルをもう一度しっかりとつなぎ直します。ケーブルのコネクタが正しい向きであることを確認します。正しい向きでしか差し込めません。
- コンピュータを再起動してみます。
- 上記のいずれの方法でも問題が解決しない場合は、iPod ソフトウェアを復元する必要がある可能性があります。62 ページの「iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する」を参照してください。

参考：FireWire ケーブル用 iPod Dock コネクタは、バッテリーを充電する用途にのみ使用でき、iPod に曲やほかのオーディオファイルやビデオファイルを読み込む用途には使用できません。

iPod に「iTunes」を使って復元するメッセージが表示される

- お使いのコンピュータに最新版の「iTunes」ソフトウェアがインストールされていることを確認してください（www.apple.com/jp/ipod/start からダウンロードできます）。
- iPod をコンピュータに接続します。「iTunes」が開いたら、画面のプロンプトに従って iPod を復元します。
- iPod を復元しても問題が解決しない場合は、iPod は修理が必要な可能性があります。サービスは、iPod サービス＆サポートの Web サイトで申し込めます：www.apple.com/jp/support/ipod/service

USB 2.0 での曲またはデータの読み込みが遅い

- iPodのバッテリーが少ないときに USB 2.0 を使って大量の曲やデータを読み込む場合、iPod は バッテリーの電力消費を抑えるため、情報の読み込みスピードが低下します。
- 読み込み速度を上げたい場合は、読み込みを一旦停止し、iPod を接続したまま充電するか、オプションの iPod USB 2.0 Power Adapter（電源アダプタ）に接続します。そのまま iPod を約 1 時間充電し、それから音楽やデータの読み込みを再開します。

iPod に曲やその他の項目を読み込めない

iPodが対応していない形式でその曲がエンコードされている可能性があります。iPodは次のオーディオファイルの形式に対応しています。これらはオーディオブックおよび Podcast 用の形式を含みます：

- AAC（M4A、M4B、M4P、最大 320 kbps）
- Apple ロスレス（高品質の圧縮形式）
- MP3（最大 320 kbps）
- MP3 可変ビットレート（VBR）
- WAV
- AA（audible.com の format 2、3、および 4 の朗読ファイル）
- AIFF

Apple ロスレス形式を使ってエンコードした曲のサウンド品質は CD と同等ですが、使用する容量は AIFF 形式または WAV 形式を使ってエンコードした曲の約半分で済みます。AAC 形式または MP3 形式でエンコードした場合は、さらに少ない容量で済みます。「iTunes」を使用して CD から音楽を読み込む場合、デフォルトで AAC 形式に変換されます。

Windows で「iTunes」を使用する場合は、保護されていない WMA ファイルを AAC 形式または MP3 形式に変換できます。これは、WMA 形式でエンコードされた音楽のライブラリがある場合に便利です。

iPod は、WMA、MPEG Layer 1、MPEG Layer 2 のオーディオファイル、または audible.com の format 1 には対応していません。

「iTunes」に iPod が対応していない曲がある場合は、iPod が対応している形式に変換できます。詳しくは、「iTunes ヘルプ」を参照してください。

iPod を理解できない言語に誤って設定してしまった場合

言語をリセットできます。

1. メインメニューが表示されるまで「メニュー」ボタンを押し続けます。
2. 5 番目のメニュー項目（「設定」）を選択します。
3. 最後のメニュー項目（「Reset All Settings」）を選択します。
4. 2 番目のメニュー項目（「Reset」）を選択し、言語を選択します。

iPod のその他の設定（曲のリピートなど）もリセットされます。

参考：iPod のメインメニューの項目を追加したり取り除いたりした場合（9 ページの「メインメニューの項目を追加する／取り除く」を参照）、「設定」メニュー項目が違う場所にある場合があります。もし「Reset All Settings」メニュー項目が見つけられない場合は、iPod を元の状態に復元して、理解できる言語を選ぶことができます。62 ページの「iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する」を参照してください。

カメラから写真を直接読み込めない

- iPod Camera Connector (www.apple.com/jp/ipodstore から購入できます) と USB デジタルカメラを使用していることを確認してください。
- お使いのカメラに USB ケーブルが付属していない場合、別途購入する必要があります。互換性のあるケーブルについては、カメラの製造元の Web サイトを参照してください。
- 写真が読み込めない場合、カメラの電源が入っていて、写真の読み込みに適したモードに設定されていることを確認してください。お使いのカメラに付属の使用説明書を参照してください。また、ケーブルがカメラとカメラコネクタにしっかりと接続されていることも確認してください。

テレビにビデオまたは写真が表示されない

- 写真をカメラまたはカードリーダーから iPod に直接読み込んだ場合は、テレビでスライドショーとして表示することはできません。写真をまずカメラからコンピュータに読み込んでから、「iTunes」を使用して iPod に写真を読み込む必要があります。
- iPod をテレビに接続する場合、iPod AV ケーブルなどのように、iPod 専用に製造された RCA タイプのケーブルを使用する必要があります。ほかの類似の RCA タイプのケーブルでは機能しません。
- テレビが正しい入力ソースのイメージを表示するように設定されていることを確認します（詳細は、テレビに付属のマニュアルを参照してください）。
- すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認します（37 ページの「iPod に接続したテレビでビデオを観る」を参照）。
- iPod AV ケーブルの黄色の端がテレビのビデオポートに接続されていることを確認します。
- ビデオを観る場合は、「ビデオ」＞「ビデオ設定」と移動し、「TV 出力」を「オン」に設定してからもう一度試します。スライドショーを観る場合は、「写真」＞「スライドショー設定」と移動し、「TV 出力」を「オン」に設定してからもう一度試します。
- それでも何も起こらない場合は、「ビデオ」＞「ビデオ設定」（ビデオの場合）、または「写真」＞「スライドショー設定」（スライドショーの場合）と移動し、お持ちのテレビの種類に応じて、「TV 信号」を「PAL」または「NTSC」に設定します。両方の設定を試してみてください。

システム条件を再確認したい場合

iPod を使うには、次のものが必要です：

- 次のコンピュータ構成のいずれか：
  - USB ポートを搭載した Macintosh（USB 2.0 を推奨）
  - USB ポートまたは USB カードを搭載した Windows PC（USB 2.0 を推奨）

- 次のオペレーティングシステムのいずれか：Mac OS X v10.3.9 以降、Windows 2000 Service Pack 4以降、もしくはWindows XP Home EditionまたはWindows XP ProfessionalのService Pack 2 以降
- iTunes 7 以降（「iTunes」は www.apple.com/jp/ipod/start からダウンロードできます）。

お使いの Windows PC に高電力型 USB ポートがない場合は、USB 2.0 カードをご購入いただいて取り付けることができます。ケーブルおよび互換性のある USB カードについて詳しくは、www.apple.com/jp/ipod を参照してください。

高電力型の USB 2.0 ポート

参考：バッテリーを充電する場合のみ、iPod を FireWire（IEEE1394）ポートに接続できますが、音楽やほかのオーディオファイルやビデオファイルを転送する場合には使用できません。

6 ピン FireWire 400 ポート
（IEEE 1394）

Macintosh の場合、写真やアルバムを iPod に読み込むには、iPhoto 4.0.3 以降をお勧めします。このソフトウェアはオプションです。「iPhoto」は、お使いの Mac にすでにインストールされている場合もあります。「アプリケーション」フォルダを確認してください。iPhoto 4 をお使いの場合は、アップル（）メニュー＞「ソフトウェア・アップデート」と選択してアップデートすることができます。

Windows PC の場合、iPod では、Adobe Photoshop Album 2.0 以降および Adobe Photoshop Elements 3.0 以降（www.adobe.co.jp から入手できます）から自動的にフォトコレクションを読み込むことができます。このソフトウェアはオプションです。

Macintosh と Windows PC の両方で、iPod では、デジタルフォトをコンピュータのハードディスク上のフォルダから読み込んだり、ほとんどのデジタルカメラから直接読み込むこともできます（オプションの iPod Camera Connector を使用します）。

iPod を Mac と Windows PC で使う場合

現在 iPod を Mac で使っていて、今後は Windows PC で使いたい場合は、iPod アップデータを使って、iPod のソフトウェアを PC で使えるように復元する必要があります（以下の「iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する」を参照）。iPod ソフトウェアを復元すると、すべての曲を含むすべてのデータが iPod から消去されます。

iPod のデータをすべて消去せずに、Mac で使用している iPod を Windows PC で使用するように切り替えること（または、その逆）はできません。

iPod の画面をロックしたが解除できない

通常は、使用権限のあるコンピュータに iPod を接続することができる場合、iPod は自動的にロックを解除します。お使いの iPod と使用する権限のあるコンピュータがない場合には、iPod をほかのコンピュータに接続し、「iTunes」を使用して iPod のソフトウェアを復元できます。詳しくは、次のセクションを参照してください。

画面ロックの番号を変更したいけれど、現在の番号を思い出せない場合は、iPod ソフトウェアを復元してから、新たに番号を設定する必要があります。

iPod ソフトウェアをアップデートする／復元する

「iTunes」を使って、iPod ソフトウェアをアップデートまたは復元できます。iPod をアップデートして、最新のソフトウェアをお使いいただくことをお勧めします。また、ソフトウェアを復元することもできます。復元した場合には、iPod は元の状態に戻ります。

- アップデートを選んだ場合は、ソフトウェアがアップデートされますが、お使いの設定と曲は影響を受けません。
- 復元を選んだ場合は、曲、ビデオ、ファイル、アドレスデータ、写真、カレンダー情報、その他のデータなど、すべてのデータが iPod から消去されます。iPod の設定はすべて元の状態に復元されます。

iPod をアップデートする／復元するには：

1. お使いのコンピュータがインターネットに接続していることと、最新版の「iTunes」ソフトウェアがインストールされていることを確認してください（www.apple.com/jp/ipod/start からダウンロードできます）。
2. iPod をコンピュータに接続します。
3. 「iTunes」の「ソース」パネルで iPod を選択して、「概要」タブをクリックします。

   「バージョン」セクションで、iPod が最新の状態か、新しいバージョンのソフトウェアが必要かを確認します。
4. 「アップデート」をクリックして、最新バージョンのソフトウェアをインストールします。
5. 必要な場合は、「復元」をクリックして iPod をオリジナルの設定に戻します（これにより iPod のすべてのデータが消去されます）。画面の説明に従って復元操作を完了します。

安全にお使いいただくための注意点と清掃方法

7

このセクションには、アップルの iPod の安全性および取り扱いに関する重要な情報が記載されています。

負傷を避けるため、iPod をお使いになる前に、以下の安全性に関する指示、および操作方法をよくお読みください。

「iPod 安全ガイド」およびお使いの iPod の機能ガイドは、いつでも参照できる場所に保管しておいてください。

安全性に関する重要な情報

警告：以下の安全性に関する指示を守らないと、火災、感電、その他の負傷や損害を招くおそれがあります。

iPod を取り扱う iPod を曲げたり、落としたり、ぶつけたり、穴を開けたり、燃やしたり、開けたりしないでください。

水中や水気のある場所、湿気の多い場所を避ける 雨の中や洗面台の近くなど、液体のある場所で iPod を使用しないでください。iPod に食べ物や液体をこばさないよう注意してください。iPod を濡らしてしまった場合は、すべてのケーブルを取り外し、iPod の電源を切って、ホールドスイッチ（ある場合）をホールドの位置に切り替えてから、水気を拭き取ってください。完全に乾くまで、電源は入れないでください。

iPod を修理する 絶対に iPod を自分で修理しないでください。iPod には、お使いの方がご自身で修理できる部品はありません。修理に関する情報については、「iTunes」の「ヘルプ」メニューから「iPod ヘルプ」を選択するか、www.apple.com/jp/support/ipod/service を参照してください。iPod の充電式バッテリーの交換は、必ずアップル正規サービスプロバイダに依頼してください。バッテリーについて詳しくは、www.apple.com/jp/batteries を参照してください。

iPod USB 電源アダプタ（別売）を使用する iPod USB 電源アダプタ（www.apple.com/jp/ipodstore で別途購入できます）を使って iPod を充電する場合は、コンセントに差し込む前に、電源アダプタが完全に組み立てられていることを確認してください。確認後、iPod USB 電源アダプタをコンセントにしっかりと差し込んでください。濡れた手で iPod USB 電源アダプタを抜き差ししないでください。また、iPod を充電するときは、アップルの iPod 電源アダプタ以外の電源アダプタは使用しないでください。

iPod USB 電源アダプタは、通常の使用中でも熱くなることがあります。常に、iPod USB 電源アダプタの周りには十分な換気空間を設けるようにし、電源アダプタに触れる際には十分に注意してください。

以下のいずれかの場合には、iPod USB 電源アダプタをコンセントから抜いてください：

- 電源コードまたはプラグが擦り切れたり損傷したりした場合。
- アダプタが、雨、液体、または過度の湿気にさらされた場合。
- アダプタのケースが損傷した場合。
- アダプタを修理する必要があると思われる場合。
- アダプタを清掃する場合。

聴覚の損傷を避ける ハンズフリーヘッドセットやヘッドフォンを大音量で使用すると、聴覚を損なうおそれがあります。音量は適切なレベルに設定してください。大音量で再生を続けていると、耳が慣れ、通常の音量のように聴こえることがありますが、聴覚が損なわれている可能性があります。耳鳴りがする場合や話がよく聞こえない場合は、聴くのを中止して、聴力検査を受けてください。音量が大きい程、聴覚に影響を受けるまでの時間が早くなります。聴覚の専門家は、次のような方法で聴覚を保護することを勧めています：

- 大音量でハンズフリーヘッドセットやヘッドフォンを使用する時間を制限します。
- 周囲の騒音を遮断する目的で、音量を上げることを避けます。
- 近くで人が話す声が聞こえない場合には、音量を下げます。

iPod の最大音量の制限を設定する方法については、27 ページの「最大音量の制限を設定する」を参照してください。

ヘッドフォンを安全に使用する 乗り物を運転しながらのヘッドフォンの使用は、大変危険です。自動車の運転中は特に注意してください。乗り物の運転やその他注意が必要な作業を行っているときに、iPod の再生によって注意力が妨げられると感じたときは、使用を中止してください。

iPod 用ストラップ付きヘッドフォン（www.apple.com/jp/ipodstore で別途購入できます）を使用するときは、十分に注意してください。使用状況によっては、特にストラップが何かに引っかかったりした場合、負傷を招く危険性があります。

発作、失神、および目の疲れを避ける 発作や失神を起こしたことがある場合、またはそれらの症状の家族歴がある場合は、iPod でビデオゲーム（利用できる場合）をする前に、医師に相談してください。発作、目や筋肉のけいれん、意識の喪失、不随意運動、または見当識障害が起きた場合は、使用を中止し、医師の診察を受けてください。iPod でビデオを見たりゲームをしたりするときは（これらの機能を利用できる場合）、目の疲れを防ぐために、長時間の使用を避け、休憩をとってください。

取り扱いに関する重要な情報

注意： 以下の取り扱いに関する指示を守らないと、iPod またはその他の部品の損傷を招くおそれがあります。

iPod を持ち運ぶ iPod には、ハード・ディスク・ドライブなど、精密部品が内蔵されています。iPod を曲げたり、落としたり、ぶつけたりしないようにしてください。iPod をかすり傷などから保護したい場合は、数多く販売されているケースを別途購入して、使用することができます。

コネクタとポートを使用する コネクタは、ポートに無理に押し込まないでください。ポートに障害物がないか確認してください。コネクタとポートを簡単に接続できない場合は、それらの形状が一致していない可能性があります。コネクタとポートの形状が一致していることを確認し、ポートに対して正しい向きでコネクタを差し込んでください。

適切な温度の範囲内で iPod を扱う iPod は、温度が 0℃ 〜 35℃（32°F 〜 95°F）に保たれた場所で使用してください。低温の状態では、iPod の再生時間が一時的に短くなることがあります。

iPod は、温度が –20℃ 〜 45℃（–4°F 〜 113°F）に保たれた場所に保管してください。駐車した車の中の温度はこの範囲を超えることがあるので、iPod を車の中に置いたままにしないでください。

iPod の使用中またはバッテリーの充電中は、iPod がやや熱を持ちますが、これは異常ではありません。iPod の外装には、装置内部の熱を外部の空気で冷却する機能があります。

iPod の外側を清掃する iPod を清掃するときは、すべてのケーブルを取り外し、iPod の電源を切って、ホールドスイッチ（ある場合）をホールドの位置に切り替えてください。その後、柔らかくけば立たない布を水で湿らせて使用してください。開口部に水が入らないように注意してください。iPod を清掃するために、窓ガラス用洗剤、家庭用洗剤、スプレー式の液体クリーナー、有機溶剤、アルコール、アンモニア、研磨剤は使用しないでください。

iPod を適切に廃棄する iPod の適切な廃棄方法、およびその他の法規制の順守に関する重要な情報については、お使いの iPod の機能ガイドを参照してください。

その他の情報、サービス、サポート

8

オンスクリーンヘルプおよびインターネットで、iPod の詳しい使いかたを調べることができます。

次の表には、iPod 関連のソフトウェアとサービスに関する詳しい情報の参照先をまとめてあります。

知りたい内容	手順
サービスとサポート情報、フォーラム、およびアップルのソフトウェアダウンロード	次を参照してください：www.apple.com/jp/support/ipod
iPod を最大限に活用する方法が記載された最新のチュートリアルおよびヒントとテクニック	次を参照してください：www.apple.com/jp/support/howto
「iTunes」を使用する	「iTunes」を開き、「ヘルプ」＞「iTunes ヘルプ」と選択します。「iTunes」のオンラインチュートリアル（一部の地域でのみ利用可能です）については、次にアクセスしてください：www.apple.com/jp/support/itunes
「iPhoto」を使用する（Mac OS X の場合）	「iPhoto」を開き、「ヘルプ」＞「iPhoto ヘルプ」と選択します。
「iSync」を使用する（Mac OS X の場合）	「iSync」を開き、「ヘルプ」＞「iSync ヘルプ」と選択します。
「iCal」を使用する（Mac OS X の場合）	「iCal」を開き、「ヘルプ」＞「iCal ヘルプ」と選択します。
iPod の最新情報	次を参照してください：www.apple.com/jp/ipod
iPod のユーザ登録をする	iPod のユーザ登録を行うには、「iTunes」をインストールして iPod をコンピュータに接続します。
iPod のシリアル番号を確認する	iPod の背面を確認するか、「設定」＞「情報」と選択します。
保証サービスを受ける	まず、この冊子、オンスクリーンヘルプ、およびオンライン参考情報の指示に従ってください。それから、次を参照してください：http://www.apple.com/jp/support/ipod/service/

法規制の順守に関する情報

FCC Compliance Statement

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. See instructions if interference to radio or TV reception is suspected.

Radio and TV Interference

This computer equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy. If it is not installed and used properly—that is, in strict accordance with Apple's instructions—it may cause interference with radio and TV reception.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device in accordance with the specifications in Part 15 of FCC rules. These specifications are designed to provide reasonable protection against such interference in a residential installation. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

You can determine whether your computer system is causing interference by turning it off. If the interference stops, it was probably caused by the computer or one of the peripheral devices.

If your computer system does cause interference to radio or TV reception, try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Turn the TV or radio antenna until the interference stops.
- Move the computer to one side or the other of the TV or radio.
- Move the computer farther away from the TV or radio.
- Plug the computer in to an outlet that is on a different circuit from the TV or radio. (That is, make certain the computer and the TV or radio are on circuits controlled by different circuit breakers or fuses.)

If necessary, consult an Apple-authorized service provider or Apple. See the service and support information that came with your Apple product. Or, consult an experienced radio/TV technician for additional suggestions.

Important: Changes or modifications to this product not authorized by Apple Computer, Inc. could void the EMC compliance and negate your authority to operate the product.

This product was tested for EMC compliance under conditions that included the use of Apple peripheral devices and Apple shielded cables and connectors between system components.

It is important that you use Apple peripheral devices and shielded cables and connectors between system components to reduce the possibility of causing interference to radios, TV sets, and other electronic devices. You can obtain Apple peripheral devices and the proper shielded cables and connectors through an Apple Authorized Reseller. For non-Apple peripheral devices, contact the manufacturer or dealer for assistance.

Responsible party (contact for FCC matters only): Apple Computer, Inc. Product Compliance, 1 Infinite Loop M/S 26-A, Cupertino, CA 95014-2084, 408-974-2000.

Industry Canada Statement

This Class B device meets all requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

Cet appareil num 屍 ique de la classe B respecte toutes les exigences du R 夙 lement sur le mat 屍 iel brouilleur du Canada.

VCCI クラス B 基準について

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取扱をしてください。

European Community

Complies with European Directives 72/23/EEC and 89/336/EEC.

廃棄とリサイクルに関する情報

iPod にはバッテリーが内蔵されています。お使いの iPod を廃棄する際は、お住まいの地域の環境法と廃棄基準に従ってください。

アップルのリサイクルプログラムについては、次の Web サイトを参照してください：www.apple.com/jp/environment

Deutschland: Dieses Ger 閣 enth 獲 t Batterien. Bitte nicht in den Hausm 殆 l werfen. Entsorgen Sie dieses Ger 閣 es am Ende seines Lebenszyklus entsprechend der maßgeblichen gesetzlichen Regelungen.

Nederlands: Gebruikte batterijen kunnen worden ingeleverd bij de chemokar of in een speciale batterijcontainer voor klein chemisch afval (kca) worden gedeponeerd.

Taiwan:

廢電池請回收

European Union—Disposal Information: This symbol means that according to local laws and regulations your product should be disposed of separately from household waste. When this product reaches its end of life, take it to a collection point designated by local authorities. Some collection points accept products for free. The separate collection and recycling of your product at the time of disposal will help conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment.

環境向上への取り組み

Apple Computer, Inc. では、事業活動および製品が環境に与える影響をできる限り小さくするよう取り組んでいます。

詳しくは、次の Web サイトを参照してください：www.apple.com/jp/environment

J019-0834/9-2006